

緊急連絡先

消防（火事・救急） **119**

警察（事件・事故） **110**

市役所	那珂川市(災害対策本部)	092-953-2211		福岡管区气象台	092-725-3600
	防災行政無線の音声確認	092-953-3879		春日那珂川水道企業団	092-571-7003
消防	春日・大野城・那珂川消防組合消防本部	0180-999-888	その他	九州電力(株) 福岡南営業所	0120-986-930
	春日・大野城・那珂川消防署	092-584-1191		福岡営業所	0120-986-928
	春日・大野城・那珂川消防署 西出張所	092-952-6000		西部ガス(株) お客さまサービスセンター	0570-000-312
警察	春日警察署			NTT(電話サービスの故障など)	113または
	春日警察署 那珂川警部交番	092-580-0110		0120-444-113	
	春日警察署 南畑駐在所				

メール配信サービス

防災メール・まもるくん

© CyberConnect2 Co., Ltd.

福岡県が提供する防災情報などのメール配信システムです。

登録方法

QRコードからも登録できます。

- 空メール送信
mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp
- HPから登録
<http://www.bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp/>



(1) 空メール送信



(2) HPから登録

緊急速報メール

気象庁が配信する情報や、市が発信する避難情報を、特定地域内のスマートフォン・携帯電話に対して一斉配信します。観光や仕事、一時的に滞在している人も受信できます。

※登録不要、受信料無料。
各携帯電話会社のホームページなどをご確認ください。



災害用伝言サービス

災害用伝言ダイヤル（171）

災害用伝言ダイヤル（171）は、地震などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始されます。

利用方法

「171」をダイヤル

音声ガイダンスが流れます

伝言を録音するとき「1」

伝言を再生（確認）するとき「2」

音声ガイダンスが流れます

被災地の方の電話番号

※市外局番からダイヤル
携帯電話番号も利用できます

伝言を吹き込む
（30秒以内）

伝言を聞く

利用可能な環境

固定電話、携帯電話、IP電話、
公衆電話 ほか

くわしくは ▶ NTT西日本 災害用伝言ダイヤル（171）
<http://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

災害用伝言板

災害の発生時、被災地域の住居者がインターネットを経由して災害用伝言板にアクセスし、電話番号をキーとして伝言情報（文字）の登録・確認ができます。

利用方法

災害用伝言板にアクセス
（インターネットまたは災害用アプリ）

伝言を登録する場合
「登録」を選択

伝言を確認する場合
「確認」を選択

選択肢から選ぶまたは
コメントを入力する
・「無事です。」
・「被害があります。」
・「自宅に居ます。」
・「避難所に居ます。」等
・自由に伝言を入力する
（100文字）以内

被災地の方の
電話番号を入力する

メッセージを確認する

利用可能な環境

パソコン、スマートフォン、携帯電話、
タブレット ほか

くわしくは ▶ NTT西日本 災害用伝言板（web171）
<http://www.ntt-west.co.jp/dengon/web171/>
携帯電話各社の災害用伝言板専用ページ

体験利用日

- 毎月1日及び15日
- 正月三が日（1月1日～1月3日）

- 防災週間（8月30日～9月5日）
- 防災とボランティアの週間（1月15日～1月21日）

那珂川市 総合防災マップ

保存版

令和2年（2020年）
3月作成

自助 自分の命は自分で守る

共助 自分たちの地域は自分たちで守る



災害時の避難場所・連絡先などを書き込みましょう！

避難場所

水害・土砂災害のとき

地震のとき

家族が離ればなれになったときの集合場所

緊急連絡先

名前

電話番号

水害・土砂災害
ハザードマップの見方

避難所一覧・
防災情報の入手方法

水害・土砂災害ハザードマップ
計画規模（L1）

水害・土砂災害ハザードマップ
想定最大規模（L2）

日頃の備え

水害

土砂災害

地震

水害・土砂災害ハザードマップの見方

確認したいポイント

- ❗ 自宅等のある場所で指定されている洪水浸水想定区域・土砂災害警戒区域など
 - ❗ 避難場所の位置
 - ❗ 自宅から避難場所へ向かう経路
 - ❗ 避難経路中の危険箇所
- ※災害時に危険と思われる箇所（河川より低い道路、防護柵のない水路など）を自分の目で見て確認しておくことも大事です。



区域の見方

洪水浸水想定区域

河川が氾濫した場合の「浸水する範囲（浸水域）」と「浸水の深さ（浸水深）」を示しています。



(平成30年4月 福岡県作成)

内水浸水想定区域

市内の側溝や水路において、内水氾濫（詳しくは57ページ参照）が発生した場合の「浸水する範囲（浸水域）」を示しています。



(平成31年4月 那珂川市作成)

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

福岡県が令和2年3月現在で告示している「急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）」、「土石流」、「地すべり」の指定区域を示しています。（詳しくは59ページ参照）



水害・土砂災害ハザードマップ -計画規模(L1)- 100年に一度程度 の大雨



水害・土砂災害ハザードマップ -想定最大規模(L2)- 1,000年に一度程度 の大雨



家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流・河岸侵食)

想定最大規模の洪水浸水想定区域をもとに、家屋の倒壊をもたらすような氾濫の発生が予想される区域を示しています。

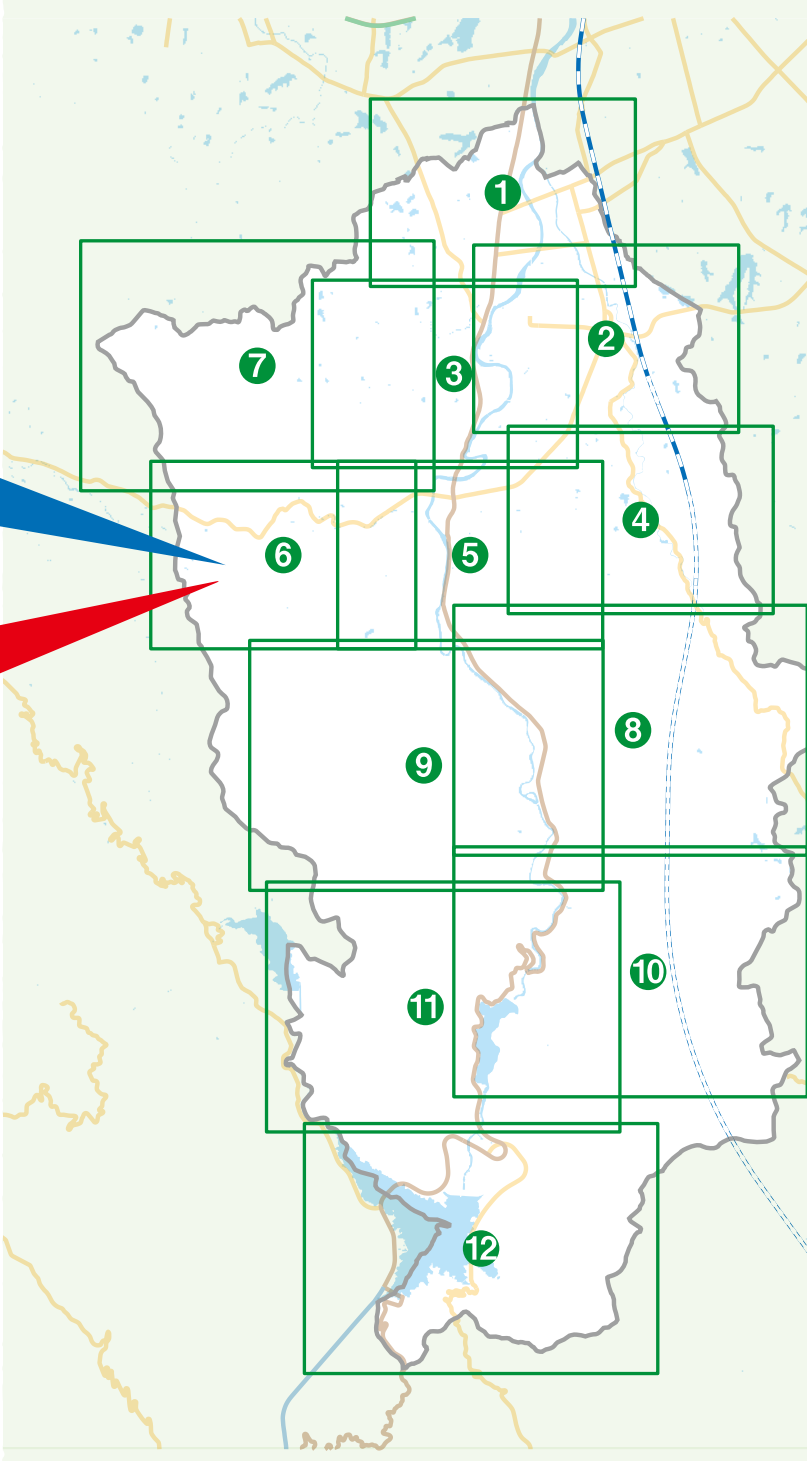


(平成30年4月 福岡県作成)

水害・土砂災害ハザードマップ索引

①～⑫の各エリアで、
-計画規模(L1)-
-想定最大規模(L2)-

のマップを交互に
掲載しています。



地区	行政区	該当ページ
南畑地区	五ヶ山	⑩(P.41～P.44) ⑪(P.45～P.48) ⑫(P.49～P.52)
	市ノ瀬	⑧(P.33～P.36) ⑨(P.37～P.40) ⑩(P.41～P.44) ⑪(P.45～P.48) ⑫(P.49～P.52)
	埋金	⑧(P.33～P.36) ⑨(P.37～P.40)
	不入道	④(P.17～P.20) ⑤(P.21～P.24) ⑧(P.33～P.36) ⑨(P.37～P.40)
	成竹	⑧(P.33～P.36) ⑨(P.37～P.40) ⑪(P.45～P.48)
	寺倉 南面里	⑧(P.33～P.36) ⑨(P.37～P.40) ⑤(P.21～P.24) ⑥(P.25～P.28) ⑨(P.37～P.40)
岩戸地区	西畑	⑥(P.25～P.28) ⑦(P.29～P.32)
	別所	③(P.13～P.16) ⑤(P.21～P.24) ⑥(P.25～P.28) ⑦(P.29～P.32)
	井尻	⑤(P.21～P.24) ⑥(P.25～P.28)
	山田	④(P.17～P.20) ⑤(P.21～P.24)
	西隈	②(P.9～P.12) ③(P.13～P.16) ⑦(P.29～P.32)
	後野	②(P.9～P.12) ③(P.13～P.16) ⑦(P.29～P.32)
片縄地区	道善	①(P.5～P.8) ②(P.9～P.12) ③(P.13～P.16)
	恵子	①(P.5～P.8) ②(P.9～P.12) ③(P.13～P.16) ⑦(P.29～P.32)
	片縄谷口	①(P.5～P.8) ②(P.9～P.12)
	片縄内田	①(P.5～P.8)
	片縄観音堂	①(P.5～P.8)
	片縄新町	①(P.5～P.8)
安徳地区	下片縄	①(P.5～P.8)
	下片縄西	①(P.5～P.8)
	片縄今池	①(P.5～P.8)
	片縄浦ノ原	①(P.5～P.8)
	片縄丸ノ口	①(P.5～P.8) ⑦(P.29～P.32)
	片縄ときわ台	①(P.5～P.8) ⑦(P.29～P.32)
安徳地区	片縄緑	①(P.5～P.8)
	上梶原	②(P.9～P.12) ③(P.13～P.16) ④(P.17～P.20) ⑤(P.21～P.24) ⑧(P.33～P.36)
	下梶原	②(P.9～P.12) ③(P.13～P.16) ④(P.17～P.20)
	安徳	②(P.9～P.12) ③(P.13～P.16) ④(P.17～P.20) ⑤(P.21～P.24)
	東隈 仲	②(P.9～P.12) ③(P.13～P.16) ①(P.5～P.8) ②(P.9～P.12) ③(P.13～P.16)
	五郎丸 今光 松木	②(P.9～P.12) ③(P.13～P.16) ①(P.5～P.8) ②(P.9～P.12) ③(P.13～P.16)
安徳地区	中原	①(P.5～P.8) ②(P.9～P.12)
	王塚台	②(P.9～P.12) ③(P.13～P.16)
	松原	②(P.9～P.12)
	向原	②(P.9～P.12)

水害・土砂災害ハザードマップの見方

避難所一覧・防災情報の入手方法

水害・土砂災害ハザードマップ
・計画規模(L1)
・想定最大規模(L2)

日頃の備え

水害

土砂災害

地震

避難所一覧(水害・土砂災害時)

避難場所一覧(地震時)は、
63ページをご覧ください。

指定緊急避難場所 災害から命を守ることを最優先として緊急に災害の危険から逃れるための場所。

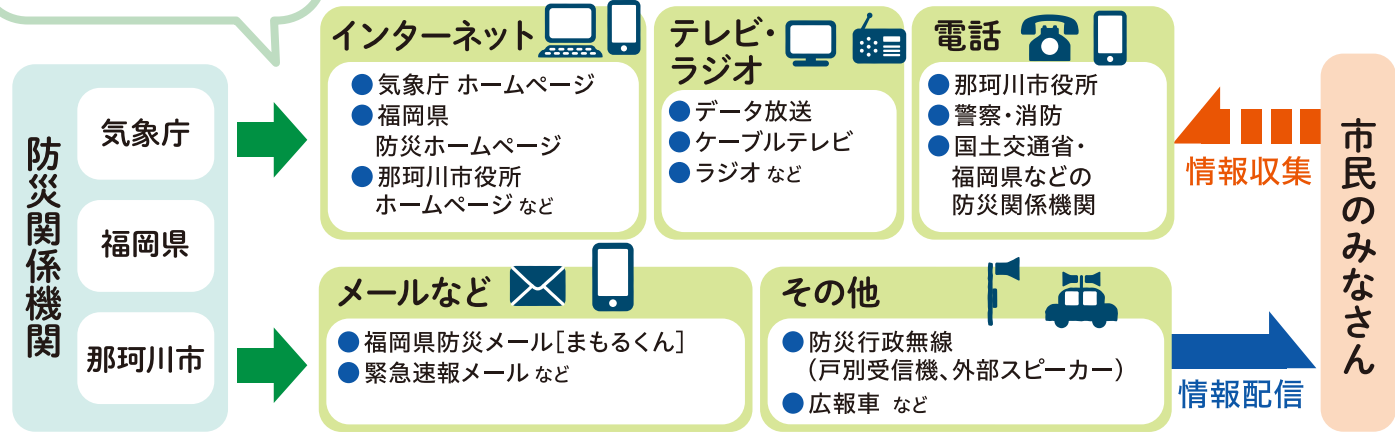
指定避難所 災害により住宅を失った場合等において、一定期間避難生活をする場所。
(原則指定緊急避難場所を兼ねます)

地区	名称	場所	住所	災害種別 (○:使用可能 ×:使用不可 △:必要に応じて使用可能)			掲載 ページ
				水害 L1(24時間 雨量328mm) L2(24時間 雨量961mm)		土砂災害	
南畑	南畑小学校	多目的教室	埋金530-1	○	○	△	33
		体育館					
岩戸	岩戸小学校	※状況に応じて	西隈2-6-43	×	×	△	9
	中央公民館	館内	後野1-5-1	○	△	○	14
	市民体育館	館内	恵子4-1-1	○	○	○	14
	岩戸北小学校	体育館	恵子1-1-1	○	×	○	5
	西畑公民館	館内	西畑975	○	○	○	26
	後野公民館	館内	後野4-9-2	○	○	○	14
	恵子教育集会所	館内	恵子2-7-1	○	○	○	5
	恵子児童館	館内	恵子4-1-2	○	○	○	5
片縄	片縄小学校	体育館	片縄北1-15-1	○	○	○	5
	那珂川北中学校	体育館	片縄西3-26-1	○	○	○	5
	福岡女子商業高等学校	体育館	片縄北1-4-1	○	○	△	5
	北地区公民館	館内	片縄5-86	○	○	○	5
	片縄第1公民館	館内	片縄8-98	○	△	○	5
	今池公民館	館内	片縄北5-17-14	○	○	○	5
	片縄孫四郎公民館	館内	片縄北3-17-31	○	○	○	6
	片縄第6公民館	館内	片縄北7-11-11	○	○	○	5
	片縄第3公民館	館内	片縄北2-17-1	○	○	○	5
	片縄第5公民館	館内	片縄西3-22-5	○	○	○	5
安德	安德南小学校	体育館	上梶原1-1-1	○	○	○	9
	那珂川南中学校	体育館	上梶原1-2-1	○	○	○	17
	那珂川中学校	※状況に応じて	仲3-19-1	×	×	○	9
	ミリカローデン那珂川	館内	仲2-5-1	○	×	○	9
	安德北小学校	体育館	五郎丸1-11	○	△	○	6
	安德小学校	体育館	松木2-134	○	○	○	9
	東地区公民館	館内	五郎丸3-9-19	○	○	○	9
	上梶原公民館	館内	上梶原735-3	○	○	○	17
	下梶原公民館	館内	下梶原1-9-3	○	○	○	9
	安德公民館	館内	安德224-2	○	○	○	9
	五郎丸公民館	館内	五郎丸2-57	○	○	○	9
	松木公民館	館内	松木2-167	○	○	○	9
	中原公民館	館内	中原6-8-1	○	○	○	6
	観晴が丘公民館	館内	観晴が丘4-7	○	○	○	10
	王塚台公民館	館内	王塚台2-146	○	○	○	9

福祉避難所 一般の避難所生活が困難な要配慮者(高齢者、障がいのある人など)を受け入れるための施設。
※災害の状況や避難者の状況を踏まえて、市が開設し、開設場所は別途お知らせします。

防災情報の入手方法

情報伝達の流れ



那珂川市からの防災情報

- 那珂川市役所ホームページ
<https://www.city.nakagawa.lg.jp/>
- 防災行政無線の音声確認 092-953-3879
※放送が聞こえにくかったり、聞き逃したりした場合に確認できます。
- 那珂川市公式Twitter
<https://twitter.com/nakagawacity>
- 那珂川市公式Facebook(なかがわTopics)
<http://www.facebook.com/nakagawatopics>

インターネットからの情報

- Yahoo!JAPAN <https://www.yahoo.co.jp/>
- NHKニュースWEB <https://www3.nhk.or.jp/news/>
- 防災関連のスマートフォンアプリ Yahoo!防災速報など
- 気象庁ホームページ <https://www.jma.go.jp/>
天気予報や警報・注意報、大雨・洪水警報の危険度分布などをリアルタイムで配信しています。
○雨雲の動き(高解像度降水ナウキャスト) ○洪水警報の危険度分布 → 58ページ
○大雨警報(浸水害)の危険度分布 ○大雨警報(土砂災害)の危険度分布 → 60ページ
- 国土交通省 川の防災情報 <http://www.river.go.jp/>
水位観測所や雨量観測所の状況を確認できます。
- 福岡県 防災ホームページ <https://www.bousai.pref.fukuoka.jp/>
○河川防災情報: 福岡県内の雨量・水位・ダム・カメラの状況を確認できます。
○土砂災害危険度情報: 福岡県内の土砂災害警戒情報の発表状況や危険度を確認できます。

テレビ(データ放送)からの情報

地上デジタル放送対応のテレビでは、リモコンの『d』ボタンを押すことで
天気予報や災害に関する情報を確認することができる「データ放送」を配信しています。
NHKや民放各局で配信されており、河川水位や雨量の状況も知ることができます。

水害・土砂災害
ハザードマップの見方

避難所一覧・
防災情報の入手方法

水害・土砂災害ハザードマップ
計画規模(1)・

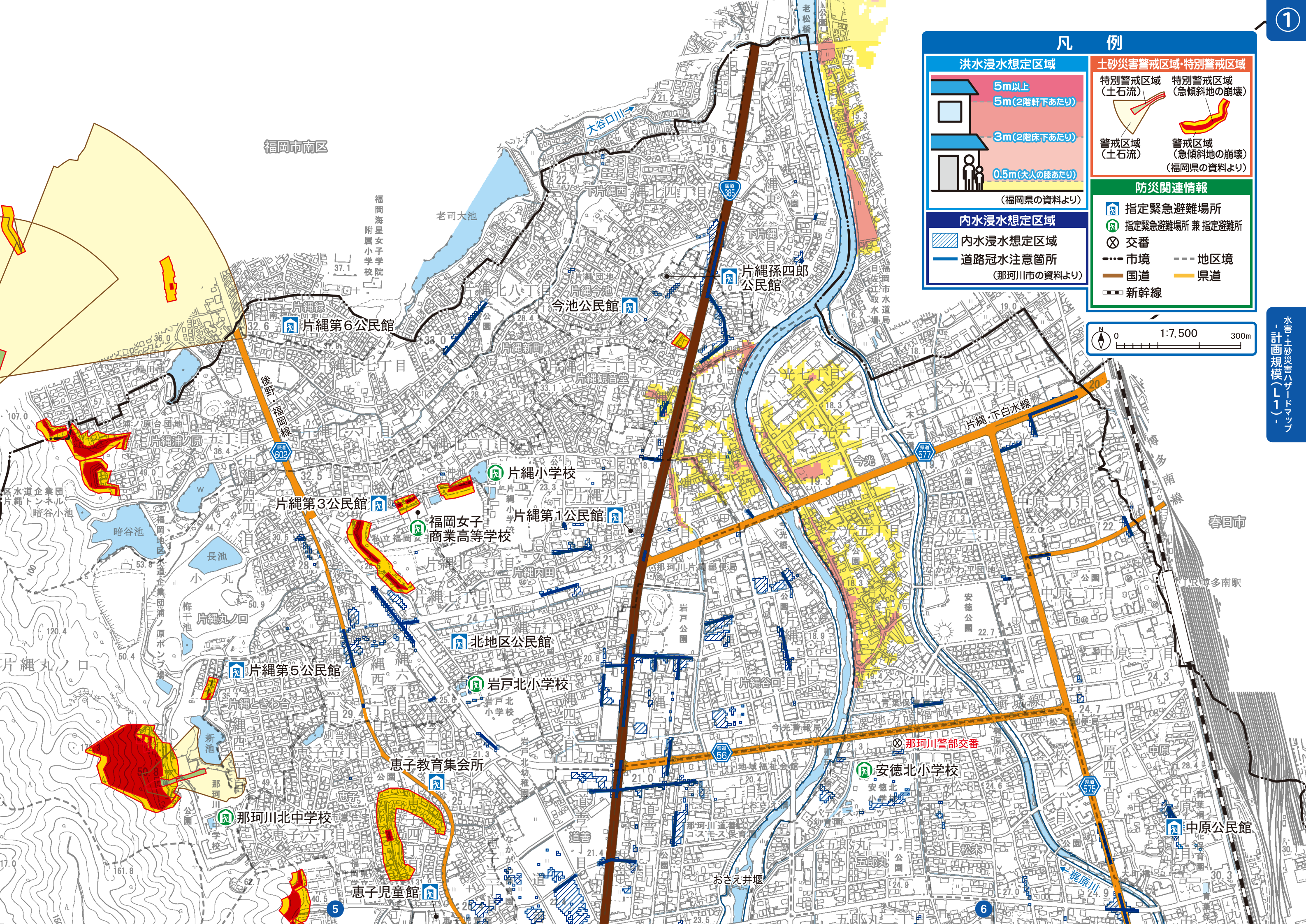
水害・土砂災害ハザードマップ
想定最大規模(2)・

日頃の備え

水害

土砂災害

地震



凡 例

洪水浸水想定区域

	5m以上 5m(2階軒下あたり)
	3m(2階床下あたり)
	0.5m(大人の膝あたり)

(福岡県の資料より)

内水浸水想定区域

	内水浸水想定区域
	道路冠水注意箇所

(那珂川市の資料より)

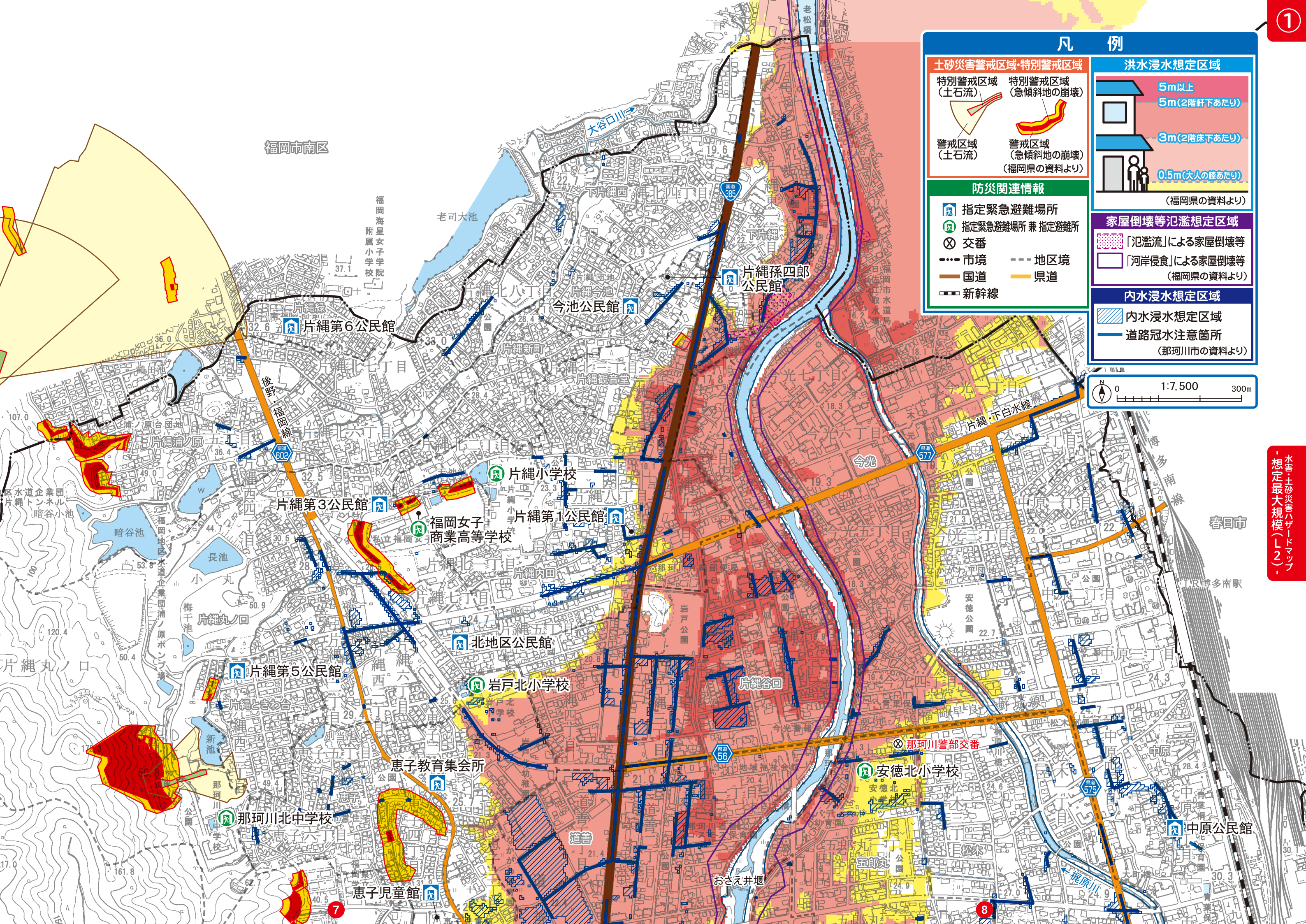
土砂災害警戒区域・特別警戒区域

	特別警戒区域 (土石流)
	特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
	警戒区域 (土石流)
	警戒区域 (急傾斜地の崩壊) (福岡県の資料より)

防災関連情報

	指定緊急避難場所
	指定緊急避難場所 兼 指定避難所
	交番
	市境
	地区境
	国道
	県道
	新幹線

水害・土砂災害ハザードマップ
計画規模(1:1)



凡 例

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

特別警戒区域 (土石流)

警戒区域 (土石流)

特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)

警戒区域 (急傾斜地の崩壊) (福岡県の資料より)

防災関連情報

指定緊急避難場所

指定緊急避難場所 兼 指定避難所

交番

市境

国道

新幹線

地区境

県道

洪水浸水想定区域

5m以上

5m(2階軒下あたり)

3m(2階床下あたり)

0.5m(大人の膝あたり)

(福岡県の資料より)

家屋倒壊等氾濫想定区域

「氾濫流」による家屋倒壊等

「河岸侵食」による家屋倒壊等 (福岡県の資料より)

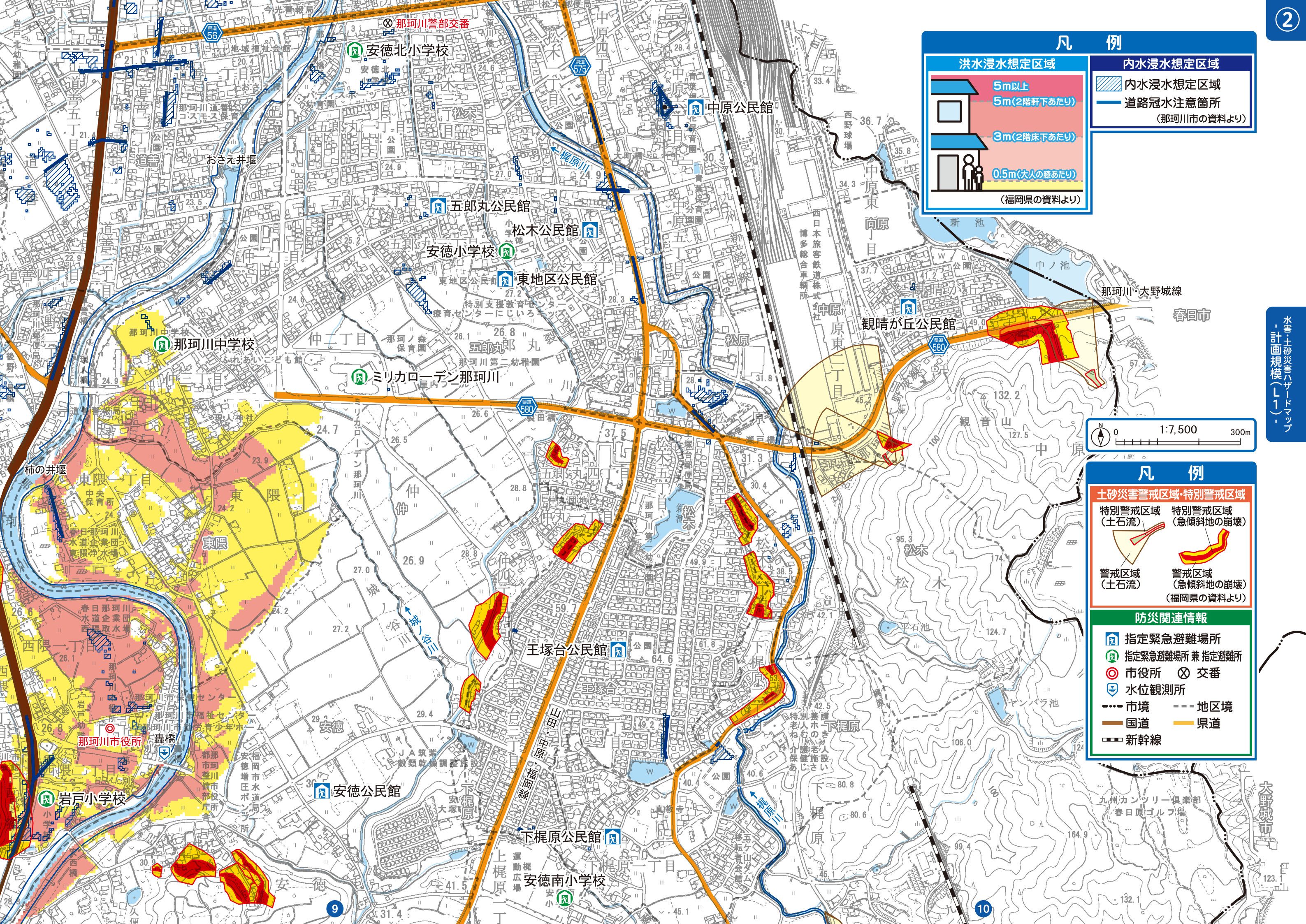
内水浸水想定区域

内水浸水想定区域

道路冠水注意箇所 (那珂川市の資料より)

0 1:7,500 300m

水害・土砂災害ハザードマップ
想定最大規模(1/2)



凡 例

洪水浸水想定区域

	5m以上
	5m(2階軒下あたり)
	3m(2階床下あたり)
	0.5m(大人の膝あたり)

(福岡県の資料より)

内水浸水想定区域

	内水浸水想定区域
	道路冠水注意箇所 (那珂川市の資料より)



凡 例

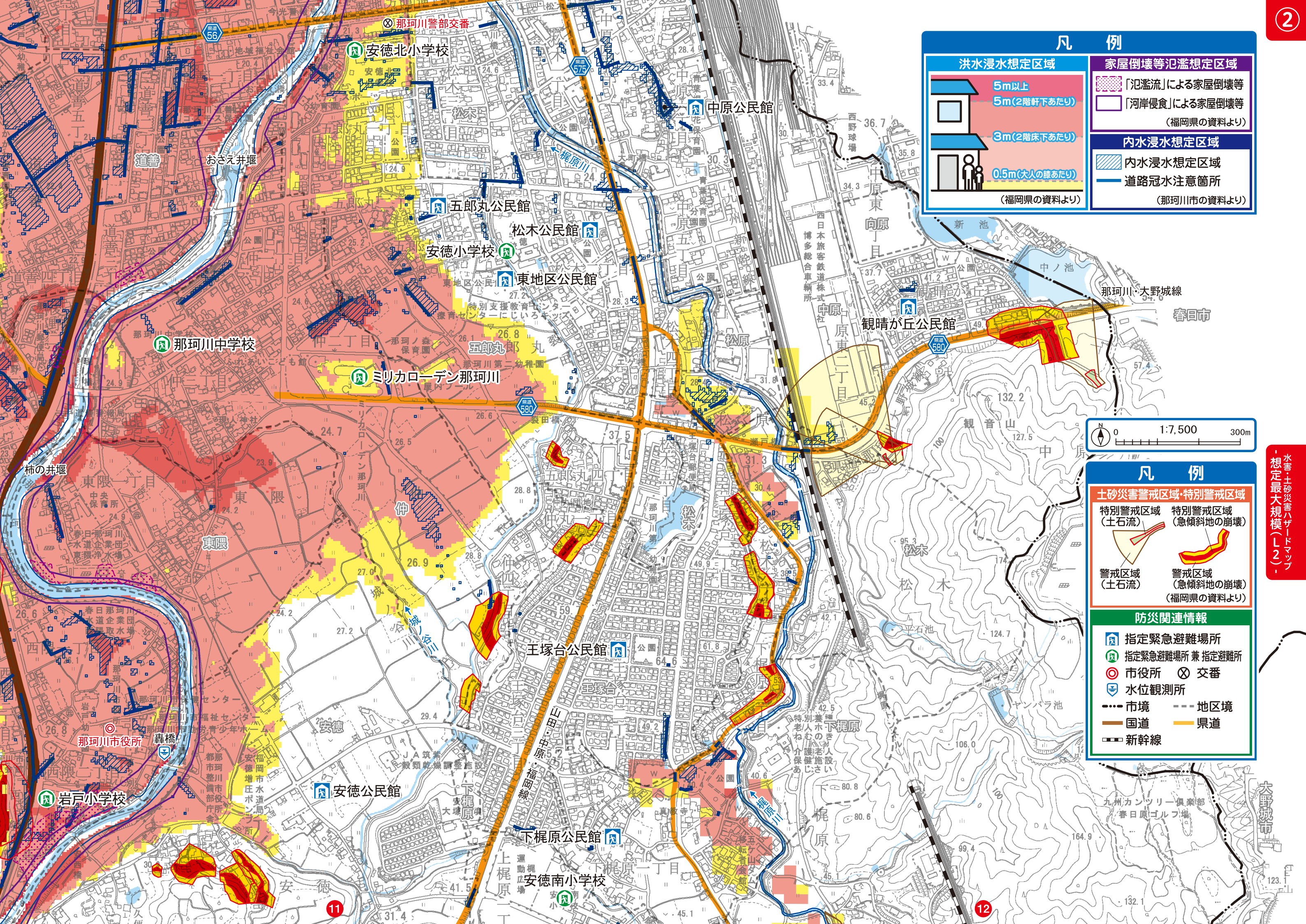
土砂災害警戒区域・特別警戒区域	
	特別警戒区域 (土石流)
	特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
	警戒区域 (土石流)
	警戒区域 (急傾斜地の崩壊) (福岡県の資料より)

防災関連情報

	指定緊急避難場所
	指定緊急避難場所 兼 指定避難所
	市役所
	交番
	水位観測所
	市境
	地区境
	国道
	県道
	新幹線

水害・土砂災害ハザードマップ
・計画規模(1:1)・

大野城市



凡 例

洪水浸水想定区域	
	5m以上 5m(2階軒下あたり)
	3m(2階床下あたり)
	0.5m(大人の膝あたり)
(福岡県の資料より)	

家屋倒壊等氾濫想定区域	
	「氾濫流」による家屋倒壊等
	「河岸侵食」による家屋倒壊等
(福岡県の資料より)	

内水浸水想定区域	
	内水浸水想定区域
	道路冠水注意箇所
(那珂川市の資料より)	



凡 例

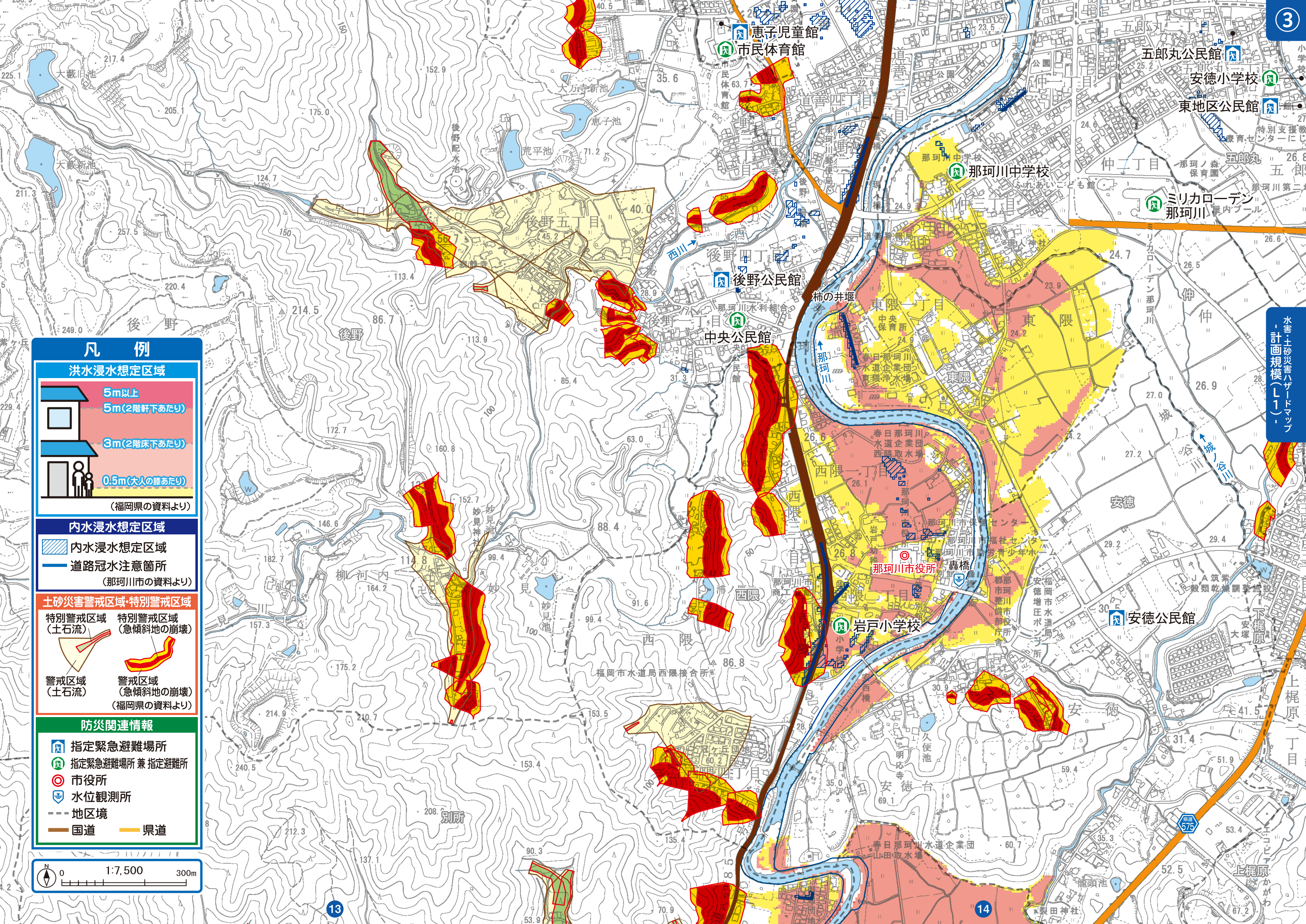
土砂災害警戒区域・特別警戒区域	
	特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
	警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
(福岡県の資料より)	

防災関連情報

	指定緊急避難場所
	指定緊急避難場所 兼 指定避難所
	市役所
	交番
	水位観測所
	市境
	地区境
	国道
	県道
	新幹線

水害・土砂災害ハザードマップ
想定最大規模(L2)

大野城市



凡 例

洪水浸水想定区域

	5m以上
	5m(2階軒下あたり)
	3m(2階床下あたり)
	0.5m(大人の膝あたり)

(福岡県の資料より)

内水浸水想定区域

	内水浸水想定区域
	道路冠水注意箇所

(那珂川市の資料より)

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

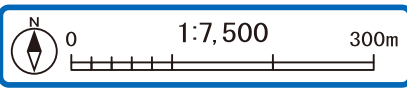
	特別警戒区域 (土石流)
	特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
	警戒区域 (土石流)
	警戒区域 (急傾斜地の崩壊)

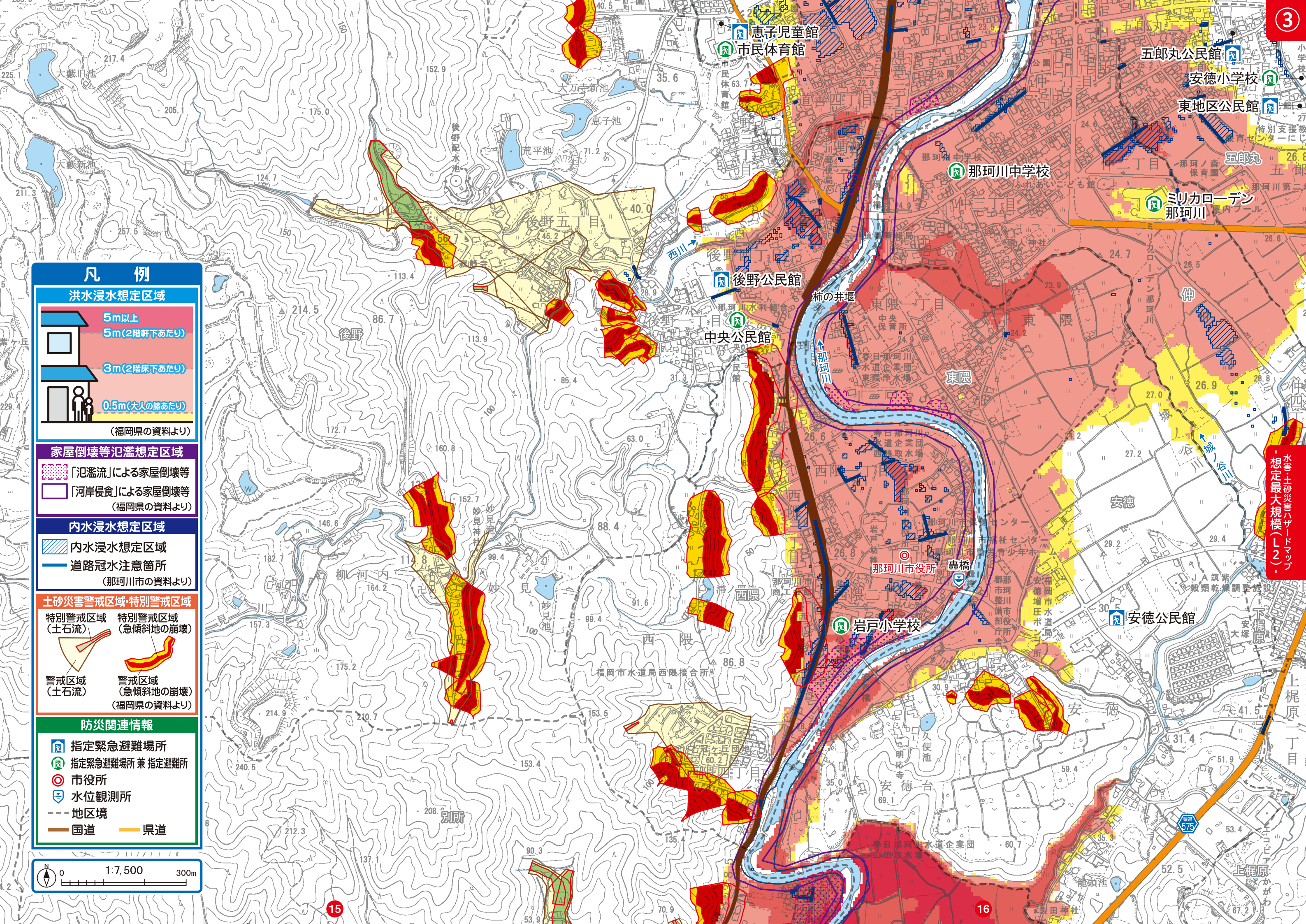
(福岡県の資料より)

防災関連情報

	指定緊急避難場所
	指定緊急避難場所 兼 指定避難所
	市役所
	水位観測所
	地区境
	国道
	県道

水害土砂災害ハザードマップ
計画規模(1:1)





凡 例

洪水浸水想定区域

5m以上
5m(2階軒下あたり)

3m(2階床下あたり)

0.5m(大人の膝あたり)

(福岡県の資料より)

家屋倒壊等氾濫想定区域

「氾濫流」による家屋倒壊等

「河岸侵食」による家屋倒壊等

(福岡県の資料より)

内水浸水想定区域

内水浸水想定区域

道路冠水注意箇所

(那珂川市の資料より)

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

特別警戒区域 (土石流)

特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)

警戒区域 (土石流)

警戒区域 (急傾斜地の崩壊)

(福岡県の資料より)

防災関連情報

指定緊急避難場所

指定緊急避難場所 兼 指定避難所

市役所

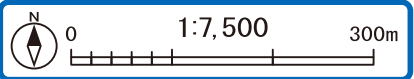
水位観測所

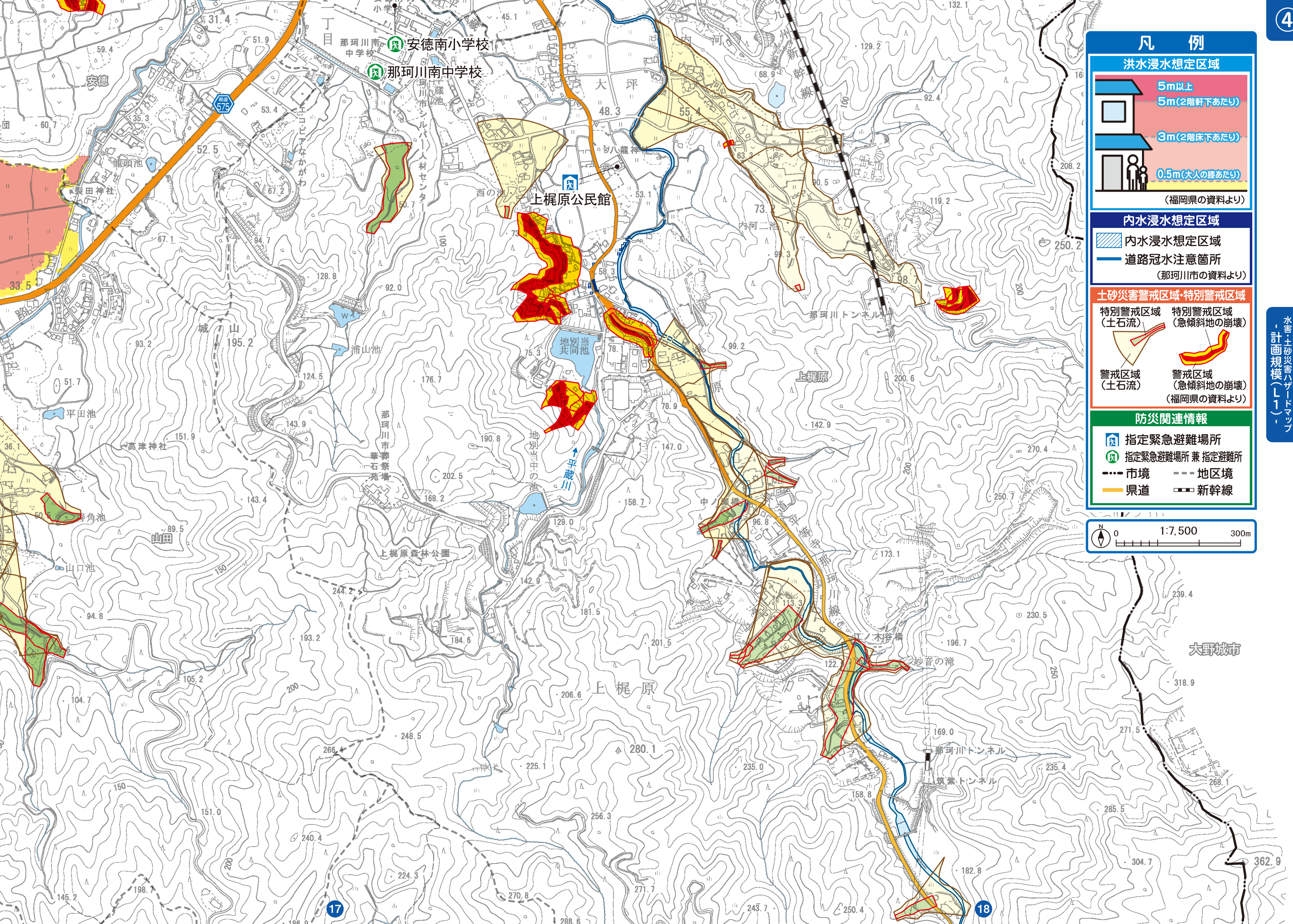
地区境

国道

県道

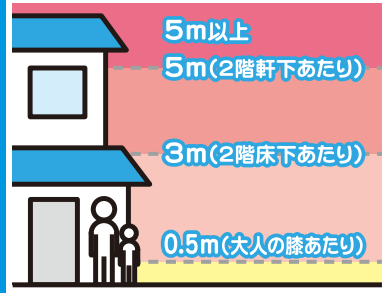
水害・土砂災害ハザードマップ
想定最大規模(L2)





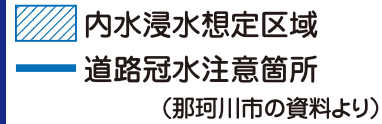
凡 例

洪水浸水想定区域



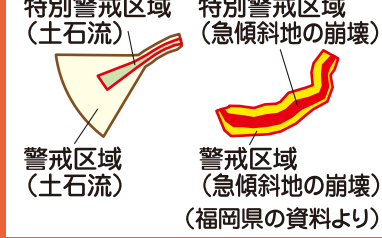
(福岡県の資料より)

内水浸水想定区域



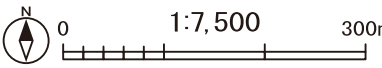
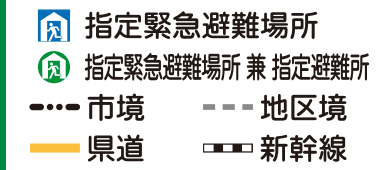
(那珂川市の資料より)

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

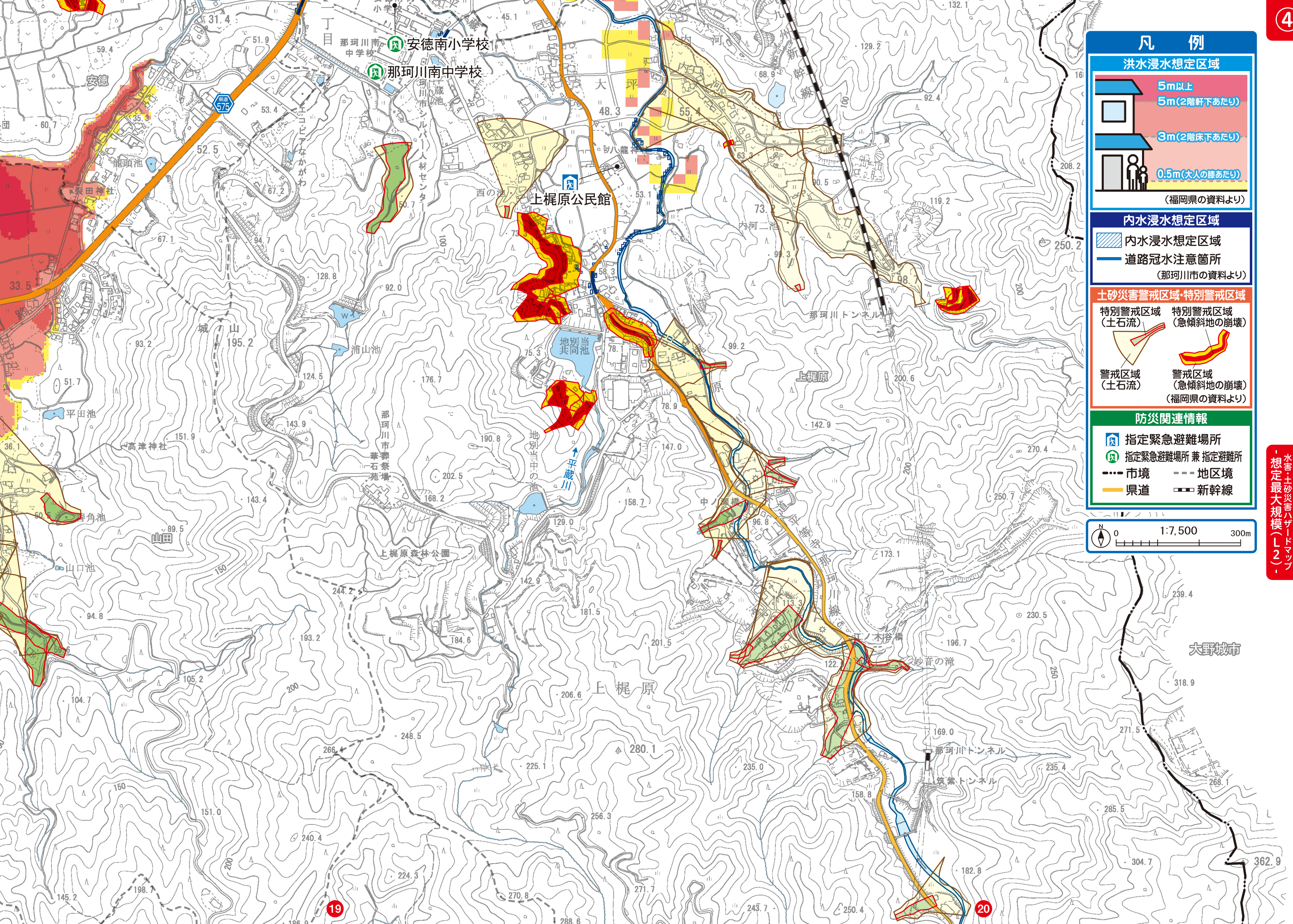


(福岡県の資料より)

防災関連情報

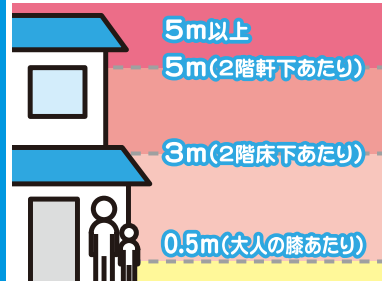


水害・土砂災害ハザードマップ
計画規模(1/10000)



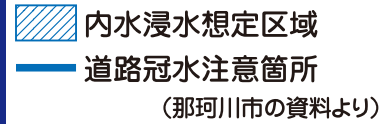
凡 例

洪水浸水想定区域



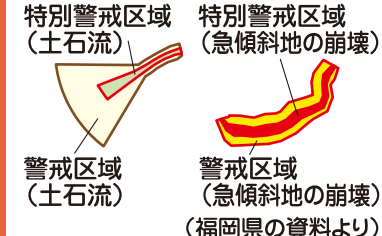
(福岡県の資料より)

内水浸水想定区域

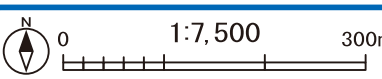
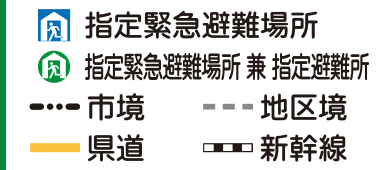


(那珂川市の資料より)

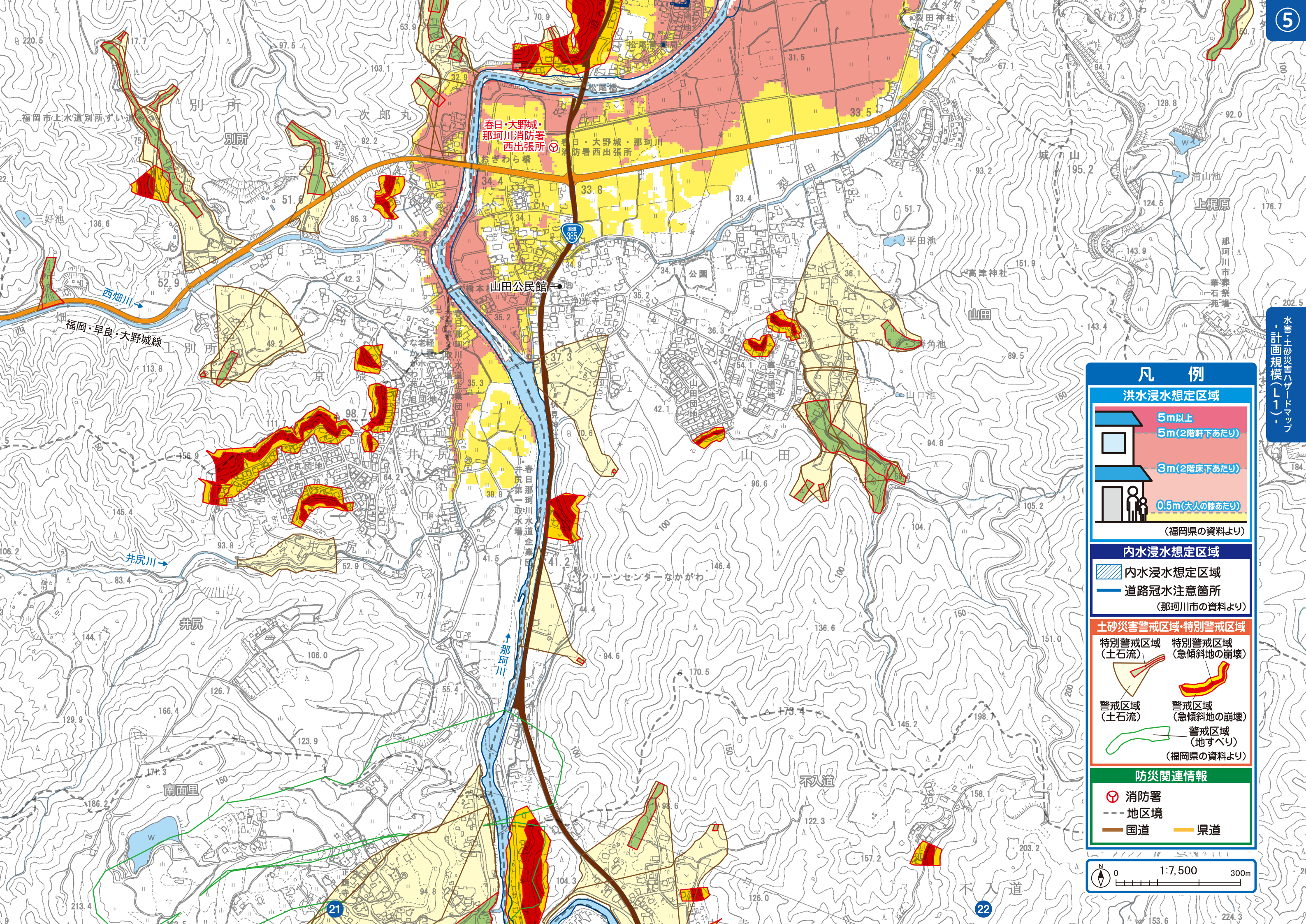
土砂災害警戒区域・特別警戒区域



防災関連情報



水害・土砂災害ハザードマップ
想定最大規模(L2)



凡 例

洪水浸水想定区域

	5m以上
	5m(2階軒下あたり)
	3m(2階床下あたり)
	0.5m(大人の膝あたり)

(福岡県の資料より)

内水浸水想定区域

	内水浸水想定区域
	道路冠水注意箇所

(那珂川市の資料より)

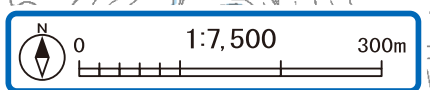
土砂災害警戒区域・特別警戒区域

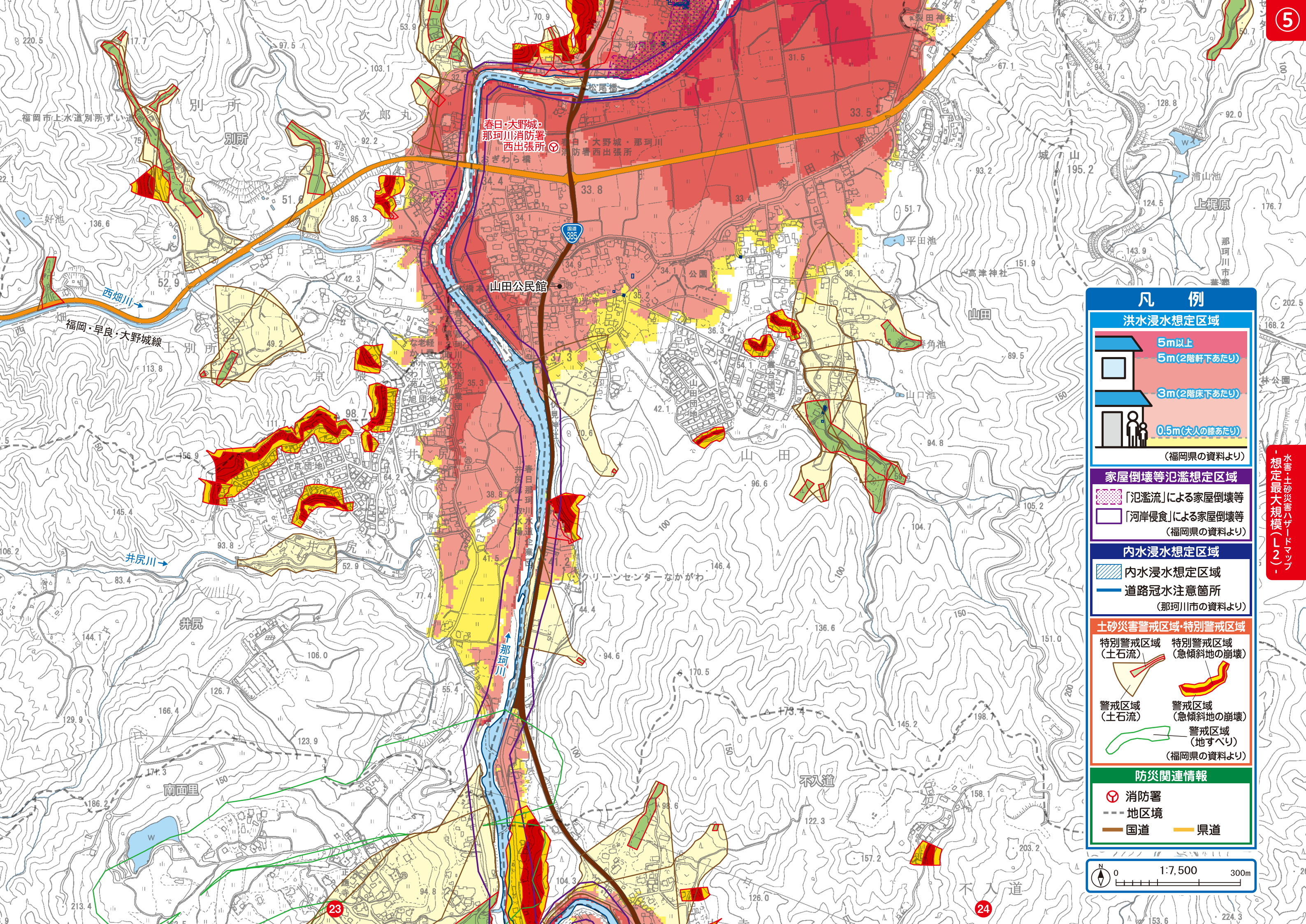
	特別警戒区域 (土石流)
	特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
	警戒区域 (土石流)
	警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
	警戒区域 (地すべり)

(福岡県の資料より)

防災関連情報

	消防署
	地区境
	国道
	県道





凡 例

洪水浸水想定区域

	5m以上
	5m(2階軒下あたり)
	3m(2階床下あたり)
	0.5m(大人の膝あたり)

(福岡県の資料より)

家屋倒壊等氾濫想定区域

	「氾濫流」による家屋倒壊等
	「河岸侵食」による家屋倒壊等

(福岡県の資料より)

内水浸水想定区域

	内水浸水想定区域
	道路冠水注意箇所

(那珂川市の資料より)

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

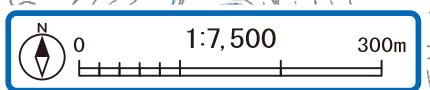
	特別警戒区域 (土石流)
	特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
	警戒区域 (土石流)
	警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
	警戒区域 (地すべり)

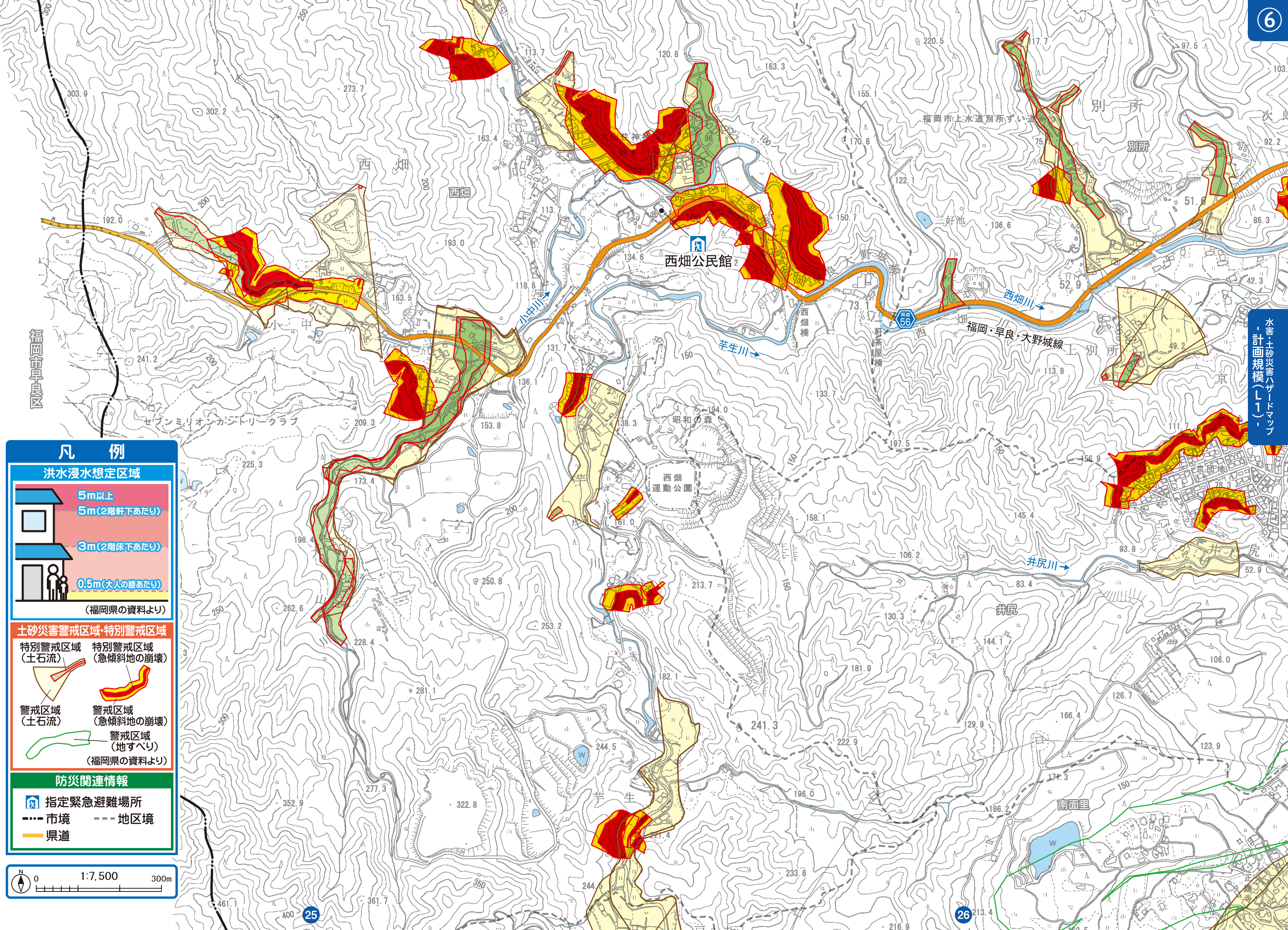
(福岡県の資料より)

防災関連情報

	消防署
	地区境
	国道
	県道

水害・土砂災害ハザードマップ
想定最大規模(L2)

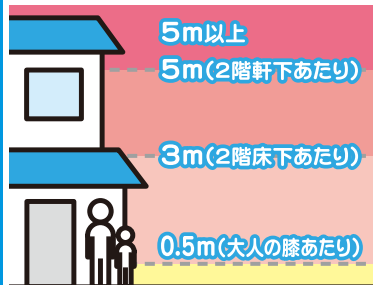




水害土砂災害ハザードマップ
計画規模(1)

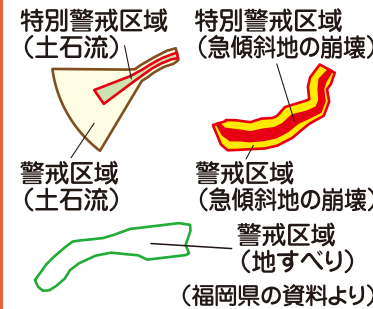
凡 例

洪水浸水想定区域



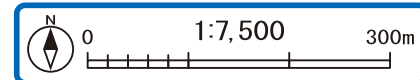
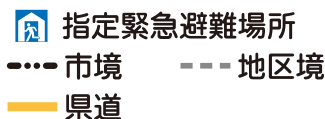
(福岡県の資料より)

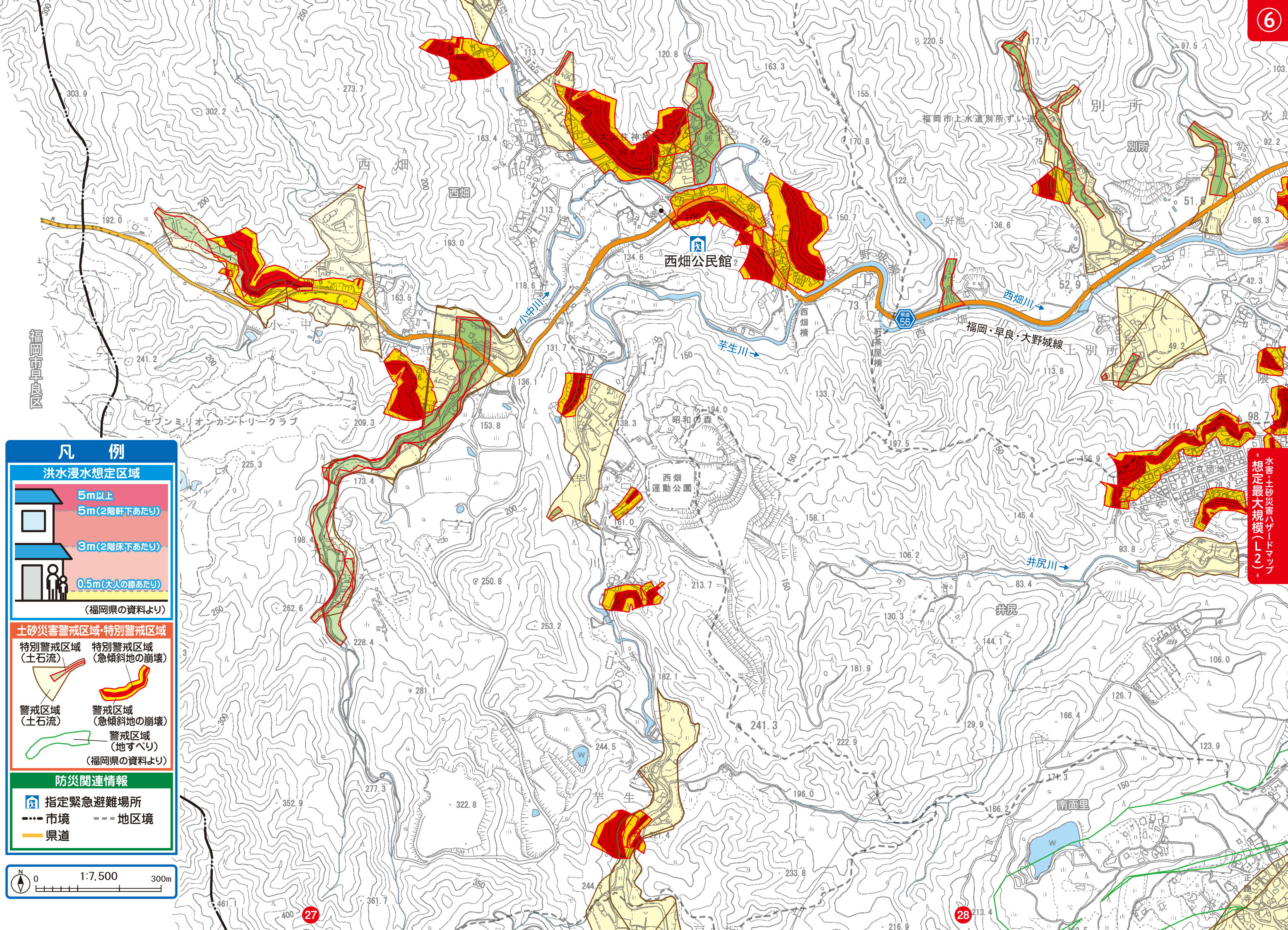
土砂災害警戒区域・特別警戒区域



(福岡県の資料より)

防災関連情報





福岡市南区

那珂川北中学校

水害・土砂災害ハザードマップ
計画規模（L1）

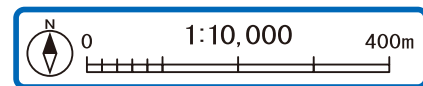
凡 例

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

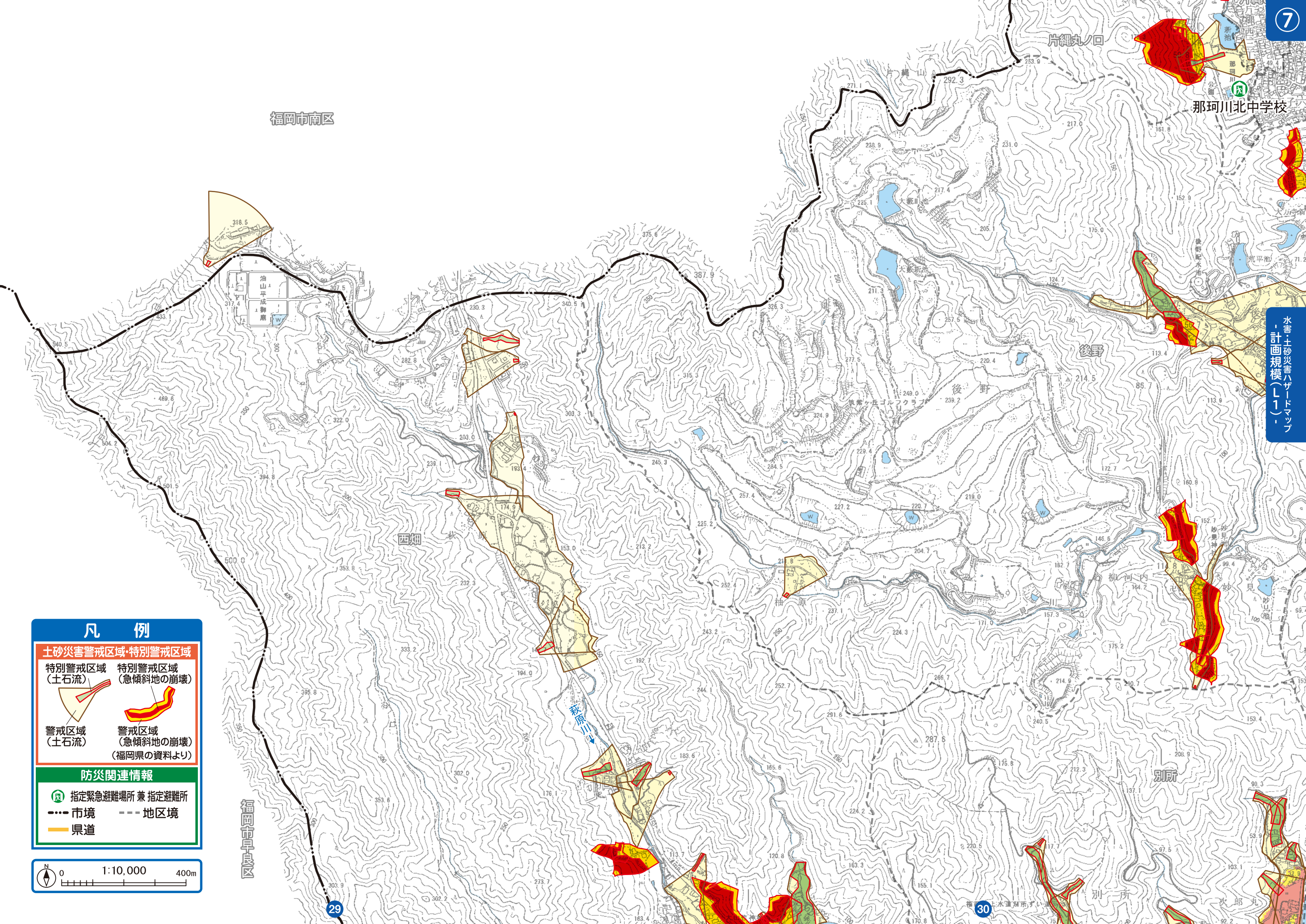
特別警戒区域 (土石流)	特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
警戒区域 (土石流)	警戒区域 (急傾斜地の崩壊) (福岡県の資料より)

防災関連情報

指定緊急避難場所 兼 指定避難所	
市境	地区境
県道	



福岡市早良区



福岡市南区

那珂川北中学校

水害・土砂災害ハザードマップ
想定最大規模（L2）

凡 例

洪水浸水想定区域

5m以上

5m(2階軒下あたり)

3m(2階床下あたり)

0.5m(大人の膝あたり)

(福岡県の資料より)

内水浸水想定区域

内水浸水想定区域

道路冠水注意箇所

(那珂川市の資料より)

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

特別警戒区域
(土石流)

特別警戒区域
(急傾斜地の崩壊)

警戒区域
(土石流)

警戒区域
(急傾斜地の崩壊)

(福岡県の資料より)

防災関連情報

指定緊急避難場所 兼 指定避難所

市境

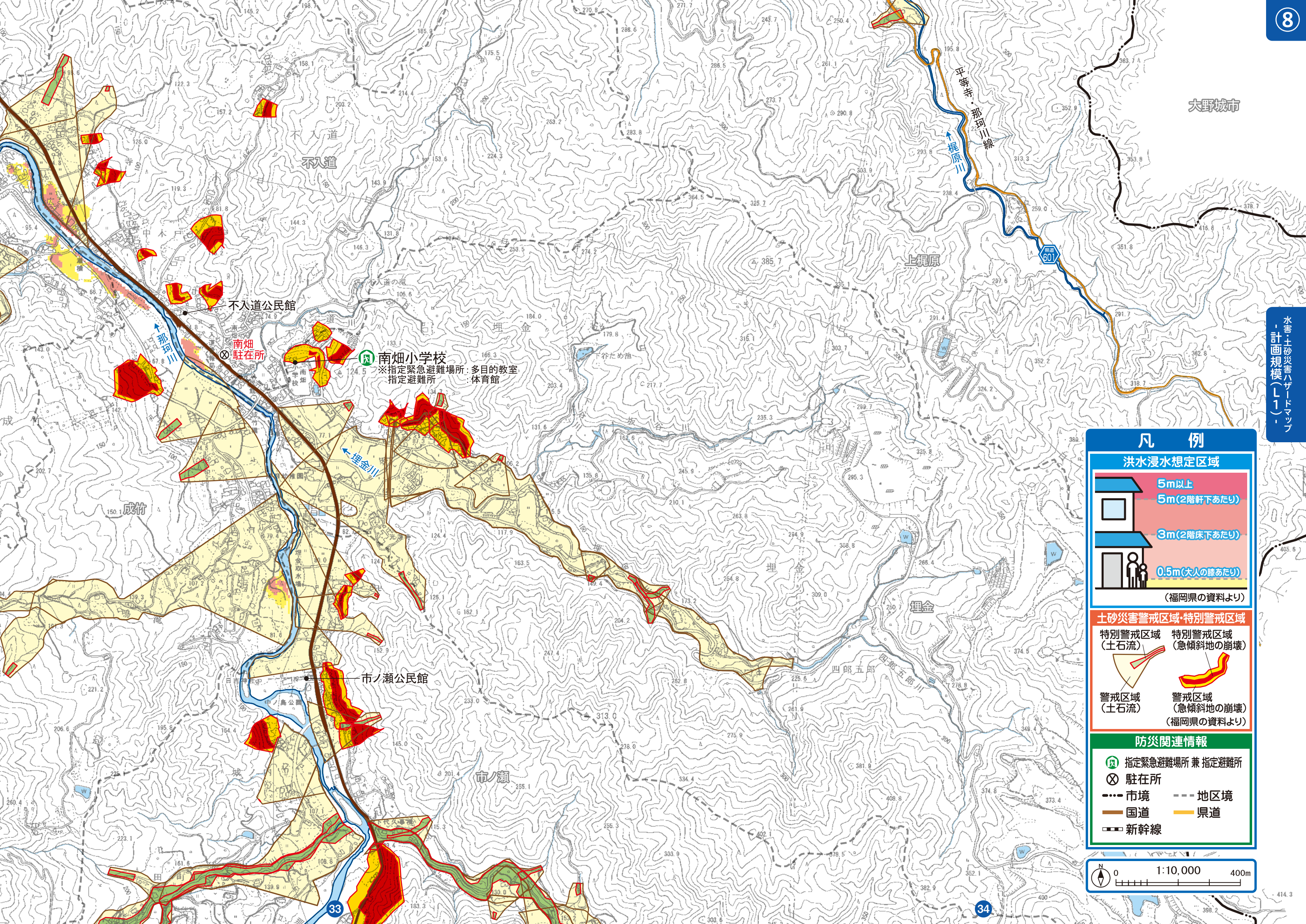
地区境

県道

福岡市早良区

31

32



水害・土砂災害ハザードマップ
計画規模(1:10,000)

凡 例

洪水浸水想定区域

	5m以上
	5m(2階軒下あたり)
	3m(2階床下あたり)
	0.5m(大人の膝あたり)

(福岡県の資料より)

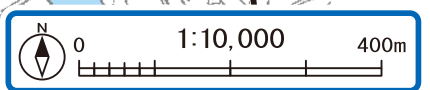
土砂災害警戒区域・特別警戒区域

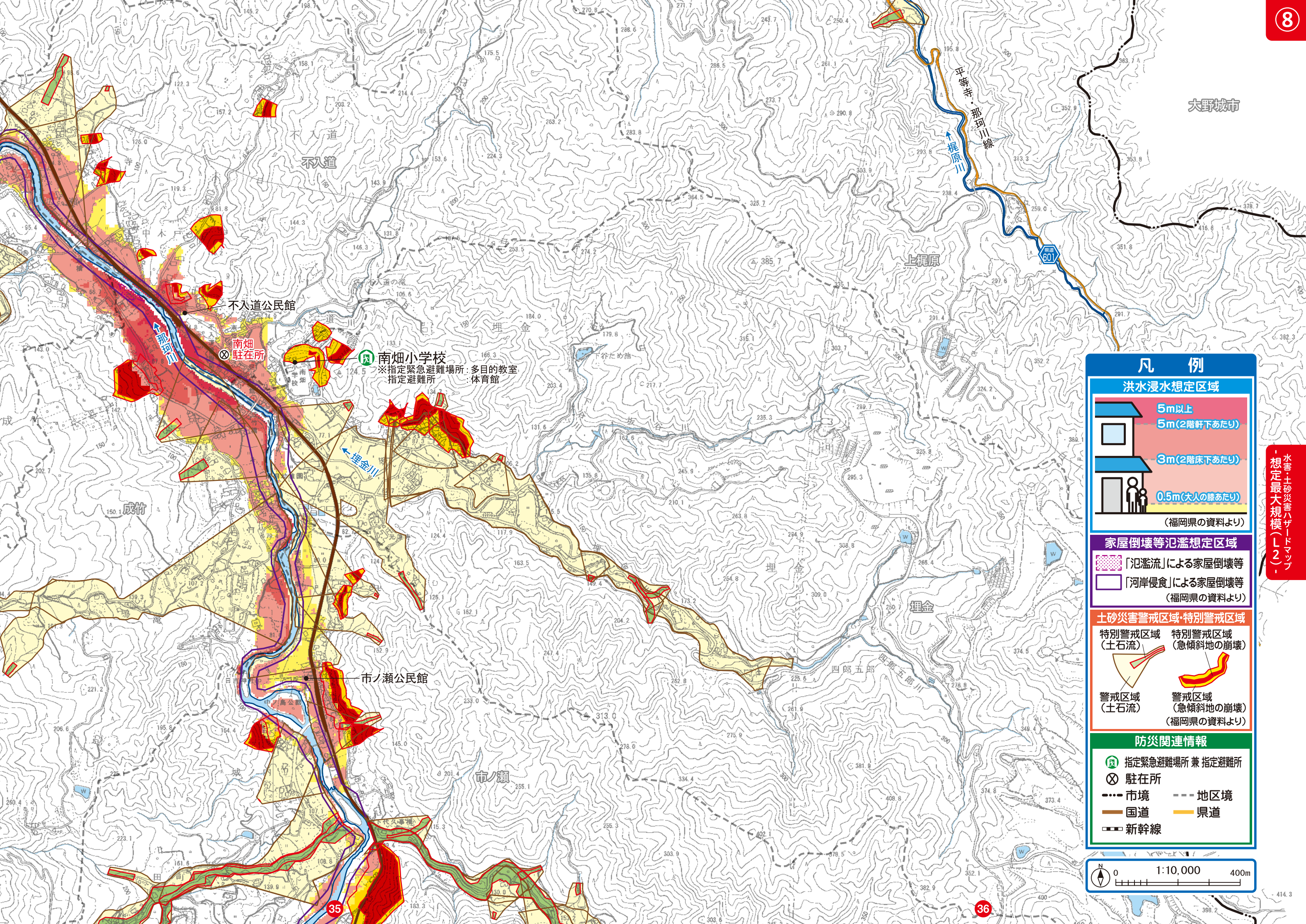
	特別警戒区域 (土石流)
	特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
	警戒区域 (土石流)
	警戒区域 (急傾斜地の崩壊)

(福岡県の資料より)

防災関連情報

	指定緊急避難場所 兼 指定避難所
	駐在所
	市境
	地区境
	国道
	県道
	新幹線





凡 例

洪水浸水想定区域

	5m以上 5m(2階軒下あたり)
	3m(2階床下あたり)
	0.5m(大人の膝あたり)

(福岡県の資料より)

家屋倒壊等氾濫想定区域

	「氾濫流」による家屋倒壊等
	「河岸侵食」による家屋倒壊等

(福岡県の資料より)

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

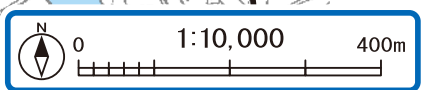
	特別警戒区域 (土石流)
	特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
	警戒区域 (土石流)
	警戒区域 (急傾斜地の崩壊)

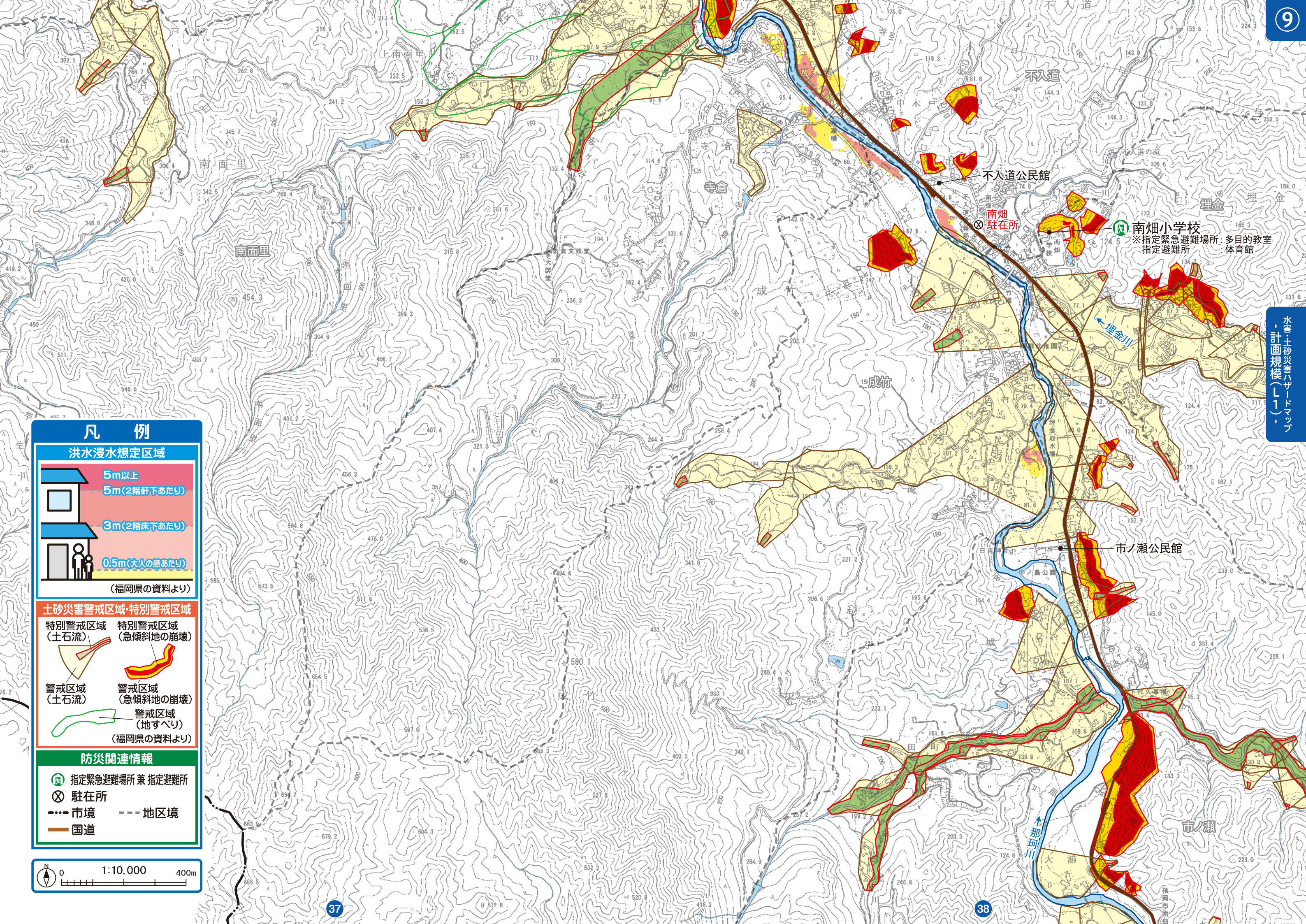
(福岡県の資料より)

防災関連情報

	指定緊急避難場所 兼 指定避難所
	駐在所
	市境
	地区境
	国道
	県道
	新幹線

水害・土砂災害ハザードマップ
想定最大規模(L2)





水害土砂災害ハザードマップ
計画規模(11)

凡 例

洪水浸水想定区域

	5m以上
	5m(2階軒下あたり)
	3m(2階床下あたり)
	0.5m(大人の膝あたり)

(福岡県の資料より)

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

	特別警戒区域 (土石流)
	特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
	警戒区域 (土石流)
	警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
	警戒区域 (地すべり)

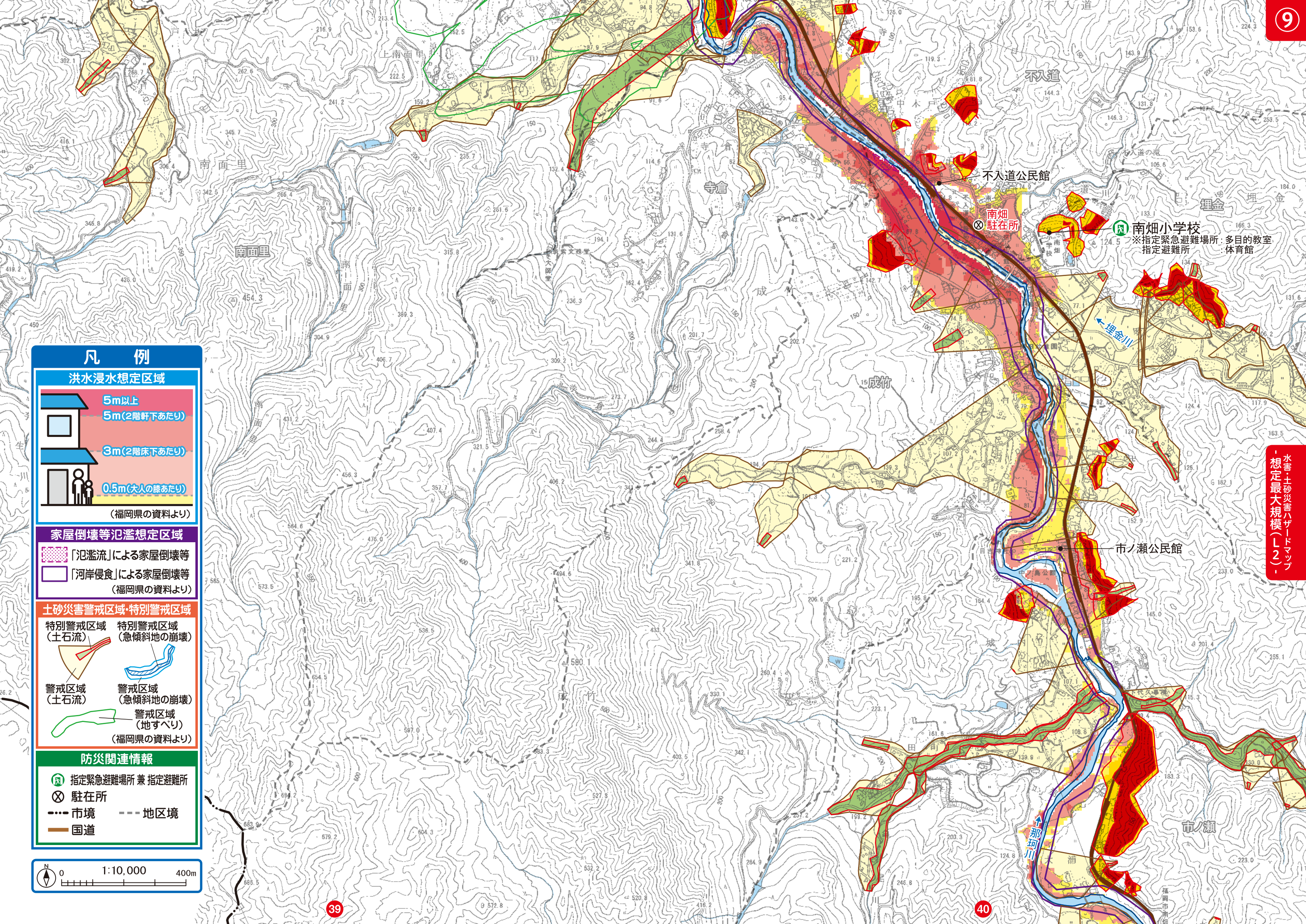
(福岡県の資料より)

防災関連情報

	指定緊急避難場所 兼 指定避難所
	駐在所
	市境
	地区境
	国道

N

0 1:10,000 400m



凡 例

洪水浸水想定区域

	5m以上 5m(2階軒下あたり)
	3m(2階床下あたり)
	0.5m(大人の膝あたり)

(福岡県の資料より)

家屋倒壊等氾濫想定区域

	「氾濫流」による家屋倒壊等
	「河岸侵食」による家屋倒壊等

(福岡県の資料より)

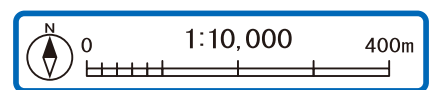
土砂災害警戒区域・特別警戒区域

	特別警戒区域 (土石流)
	特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
	警戒区域 (土石流)
	警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
	警戒区域 (地すべり)

(福岡県の資料より)

防災関連情報

	指定緊急避難場所 兼 指定避難所
	駐在所
	市境
	地区境
	国道



水害・土砂災害ハザードマップ
想定最大規模(L2)

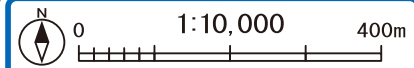
凡 例

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

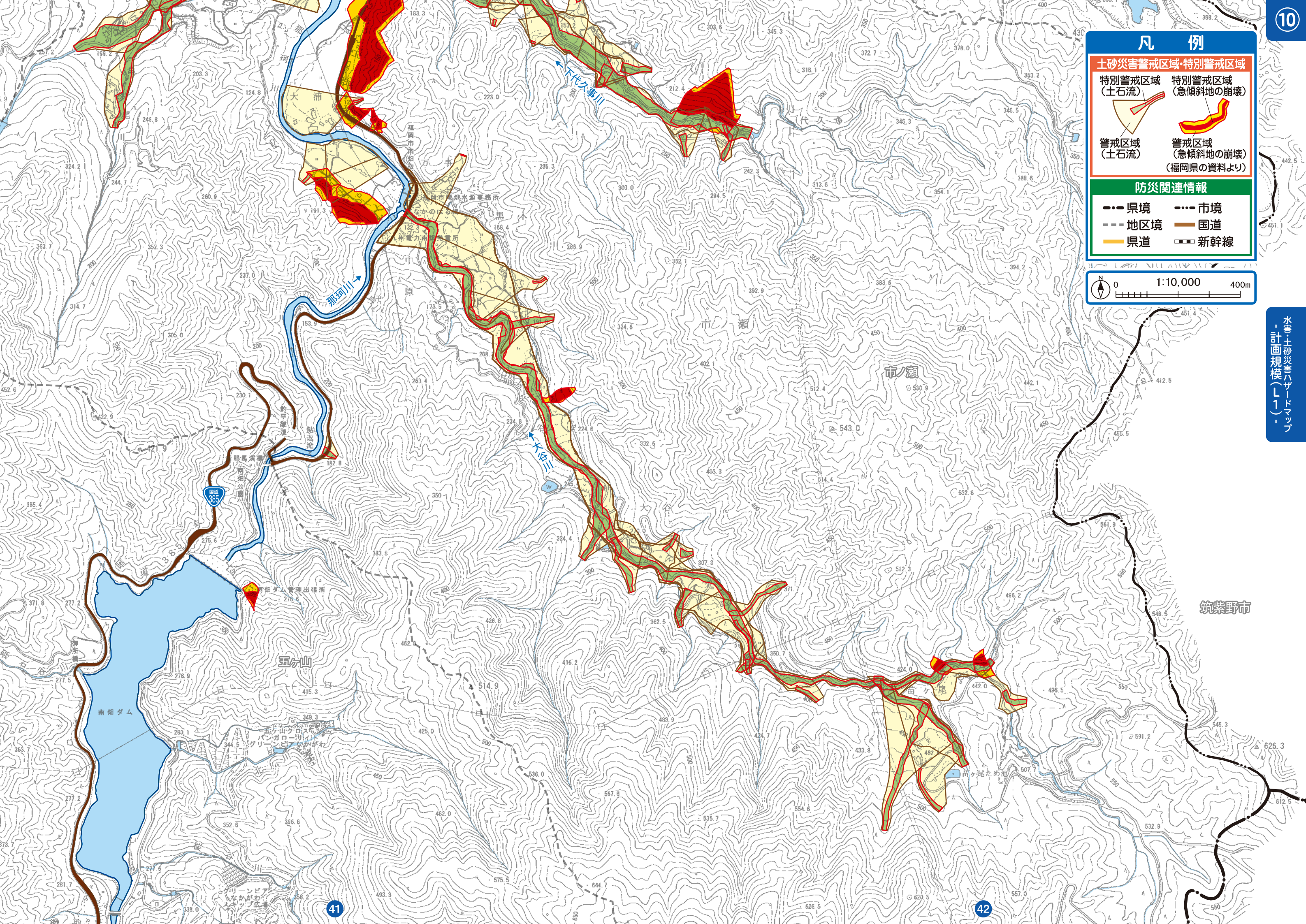
特別警戒区域 (土石流)	特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
	
警戒区域 (土石流)	警戒区域 (急傾斜地の崩壊) (福岡県の資料より)

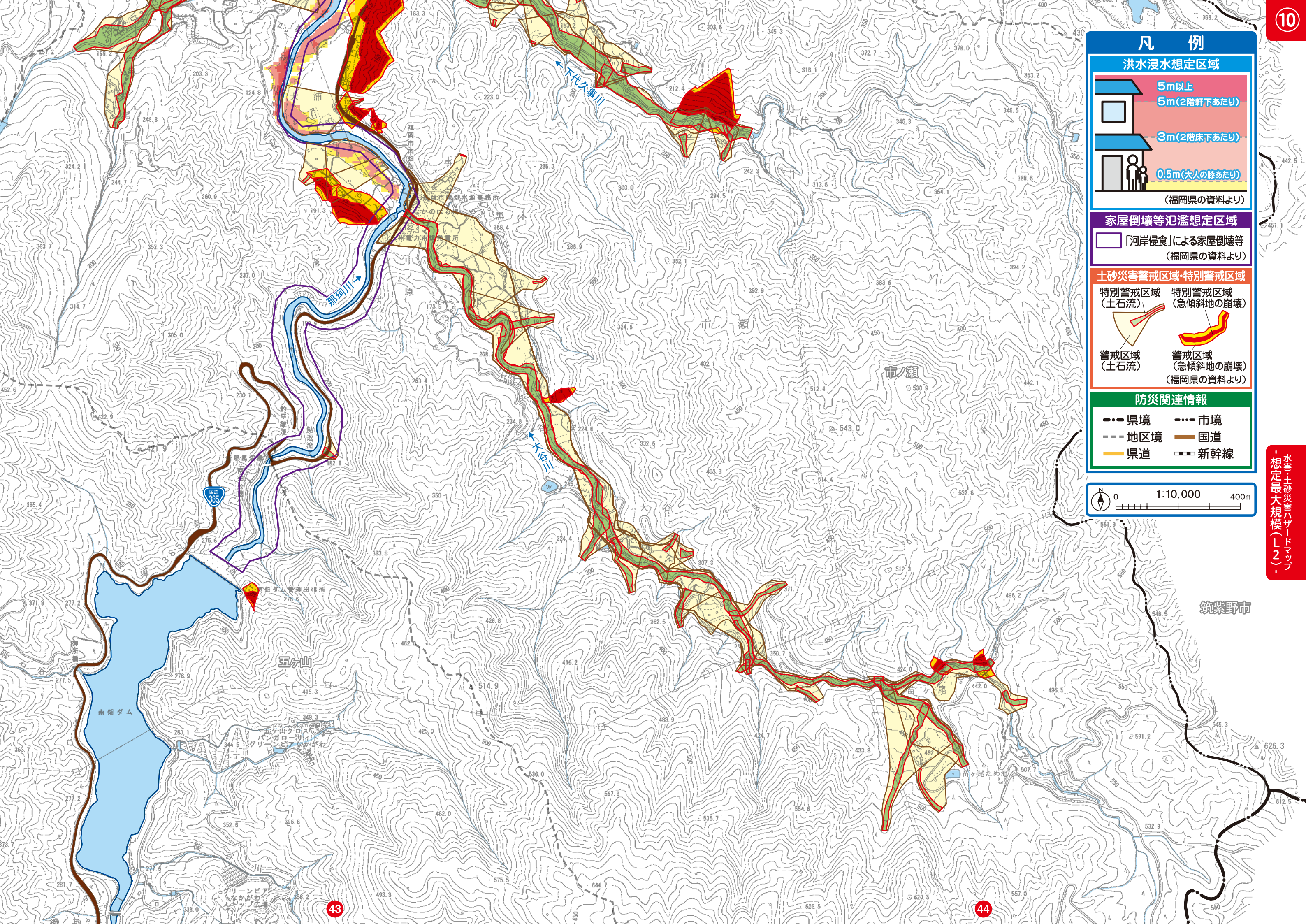
防災関連情報

--- 県境	--- 市境
--- 地区境	— 国道
— 県道	— 新幹線



水害・土砂災害ハザードマップ
・計画規模（L1）・





凡例

洪水浸水想定区域

5m以上

5m(2階軒下あたり)

3m(2階床下あたり)

0.5m(大人の膝あたり)

(福岡県の資料より)

家屋倒壊等氾濫想定区域

「河岸侵食」による家屋倒壊等

(福岡県の資料より)

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

特別警戒区域(土石流)

特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)

警戒区域(土石流)

警戒区域(急傾斜地の崩壊)

(福岡県の資料より)

防災関連情報

県境

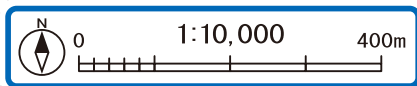
市境

地区境

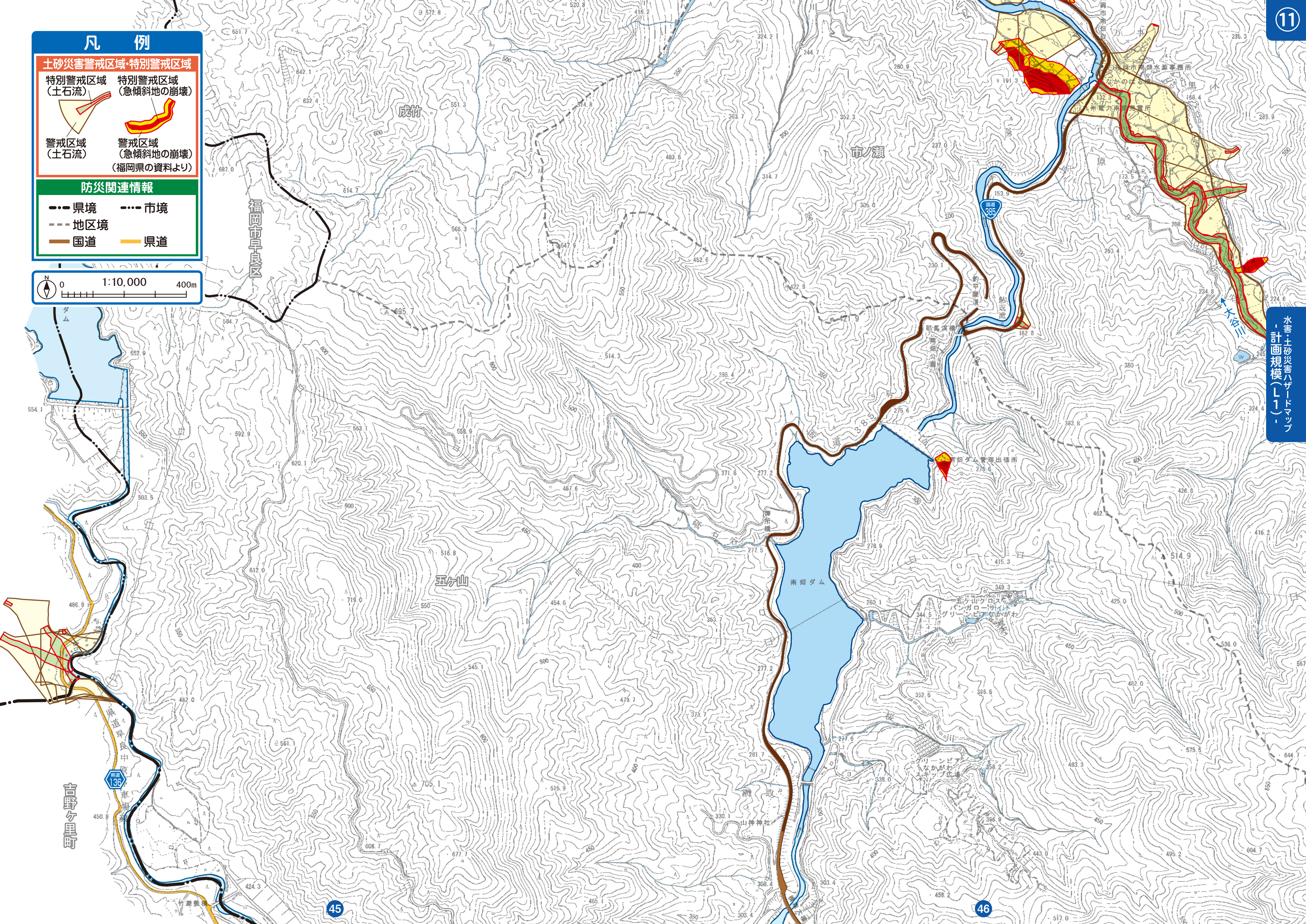
国道

県道

新幹線



水害・土砂災害ハザードマップ
想定最大規模(L2)



凡 例

洪水浸水想定区域

5m以上

5m(2階軒下あたり)

3m(2階床下あたり)

0.5m(大人の膝あたり)

(福岡県の資料より)

家屋倒壊等氾濫想定区域

「河岸侵食」による家屋倒壊等

(福岡県の資料より)

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

特別警戒区域(土石流)

特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)

警戒区域(土石流)

警戒区域(急傾斜地の崩壊)

(福岡県の資料より)

防災関連情報

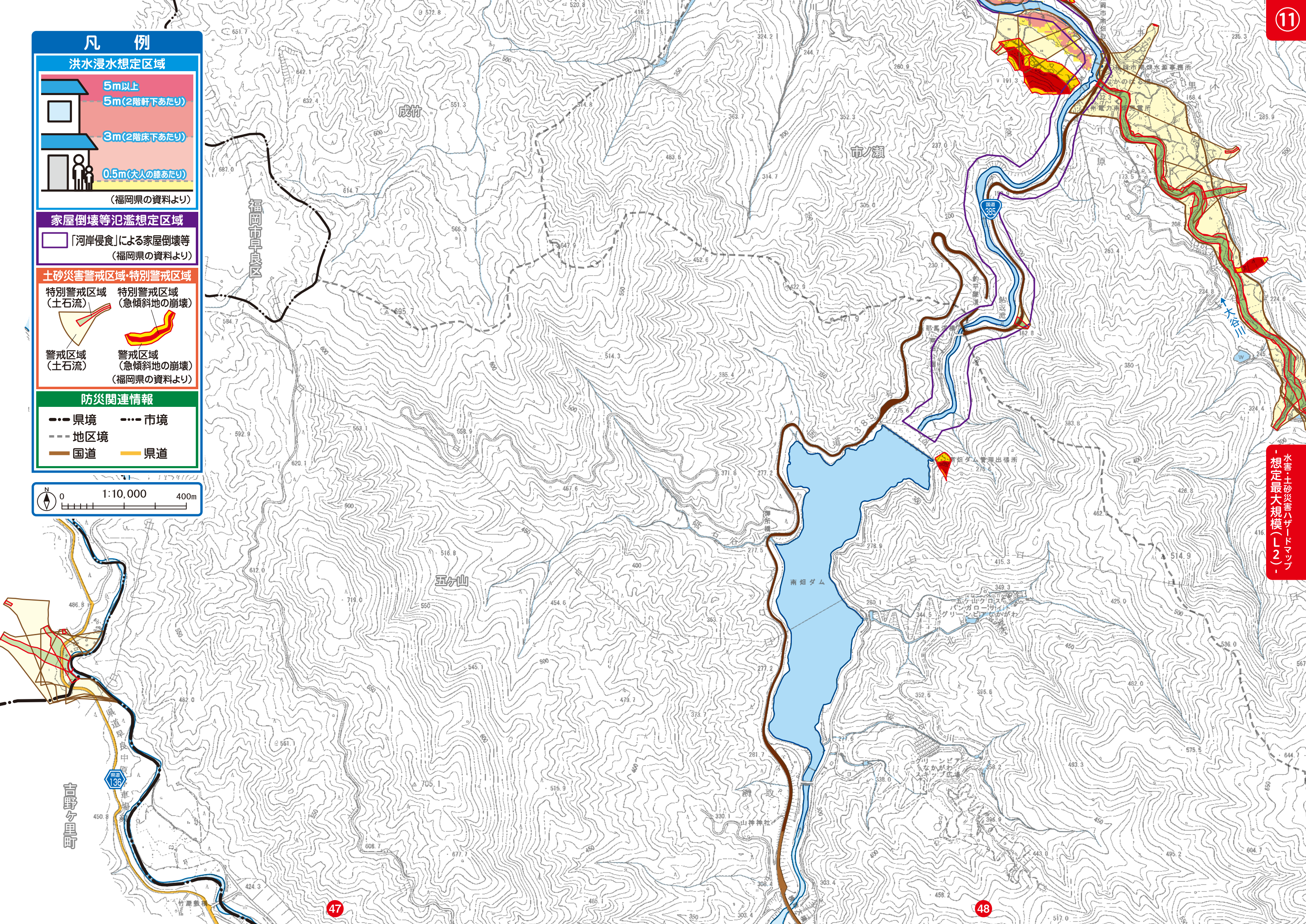
--- 県境

--- 市境

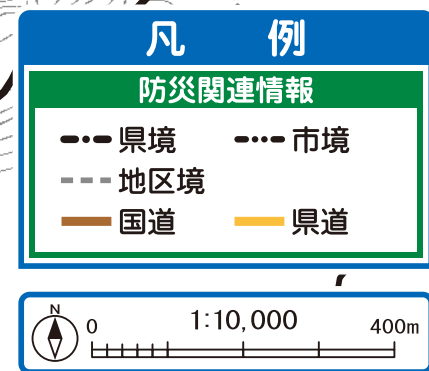
--- 地区境

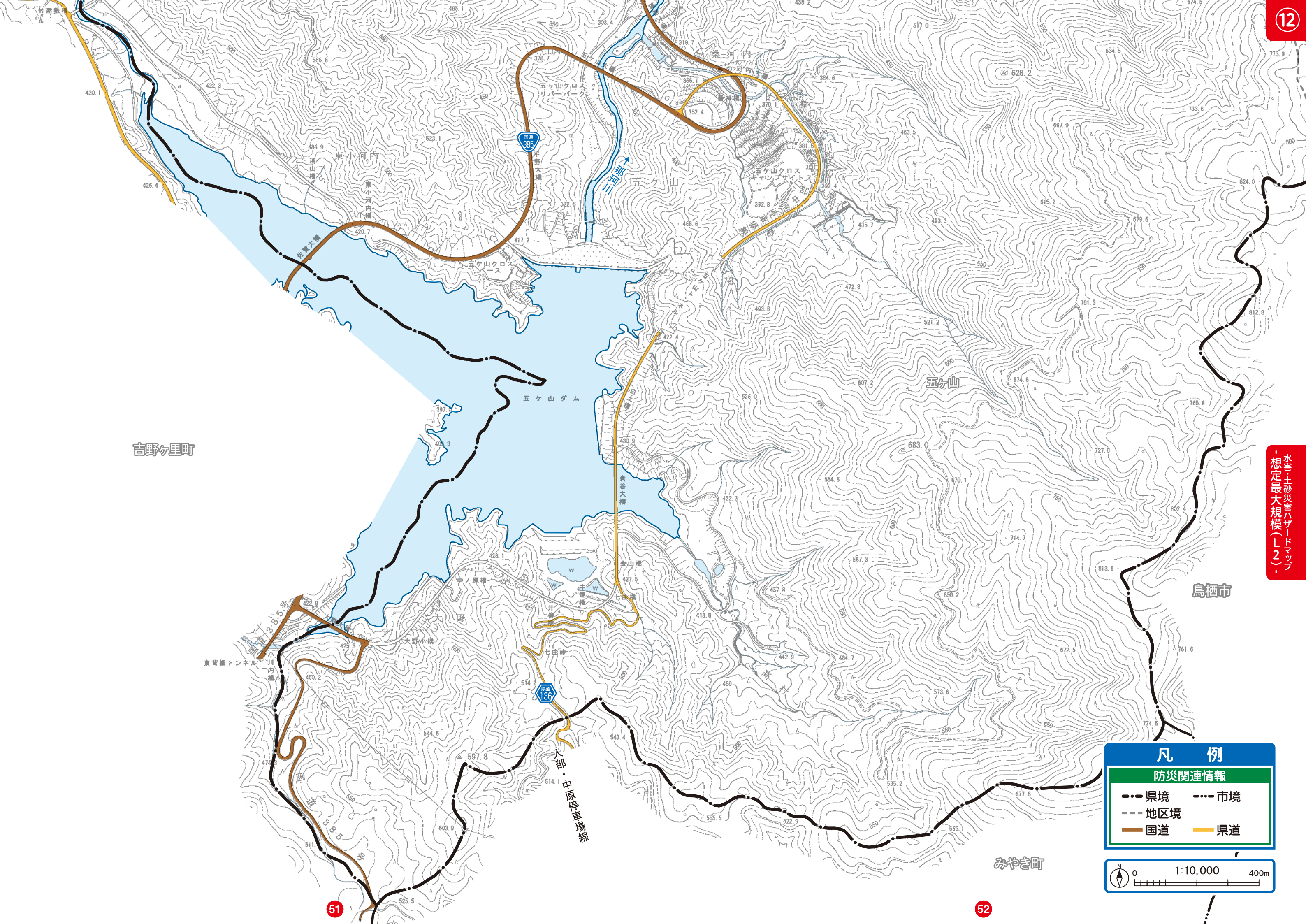
— 国道

— 県道



水害・土砂災害ハザードマップ
想定最大規模(L2)





水害・土砂災害ハザードマップ
想定最大規模(L2)

凡 例

防災関連情報

--- 県境	--- 市境
--- 地区境	
— 国道	— 県道

0 1:10,000 400m

日頃の備え 自助

家族で防災会議

災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。いざというときに、あわてず行動できるよう家族で普段から話し合っておきましょう。

また、災害に備えて家の中と外をチェックし、危険な箇所は早めに改善するようにしましょう。(58ページ参照)



話し合いたい項目 ☒

チェック

- ☐ 家の付近の浸水状況や、土砂災害のおそれのある箇所の確認
- ☐ 災害が起こった時の身の守り方
- ☐ 家族間の連絡方法と、最終的に出会う場所
- ☐ 災害別の避難行動(避難所とそこに行くまでの経路)

非常持出品・備蓄品リスト ☒

チェック

非常持出品

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。事前に準備出来ているか、確認しましょう。

携帯ラジオ

- ☐ ラジオ
- ☐ 電池(多めに用意)



懐中電灯

- ☐ 懐中電灯(できれば一人にひとつ)
- ☐ 電池(多めに用意)



貴重品

- ☐ 現金
- ☐ 健康保険証
- ☐ 印鑑
- ☐ 預金通帳
- ☐ 免許証
- ☐ 権利証書



救急医療品

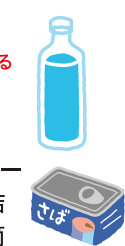
- ☐ 常備薬
- ☐ ばんそうこう
- ☐ 鎮痛剤
- ☐ 風邪薬
- ☐ 胃腸薬
- ☐ 包帯
- ☐ 傷薬
- ☐ お薬手帳



非常食品等

火を通さなくて食べられるもの、食器など

- ☐ 非常用食品
- ☐ ミネラルウォーター
- ☐ 缶切り
- ☐ 缶詰
- ☐ 紙皿
- ☐ 水筒
- ☐ 栓抜き
- ☐ 紙コップ



その他

- ☐ 衣類(下着・上着など)
- ☐ 生理用品
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ 携帯電話の充電器
- ☐ 防災マップ(本書)
- ☐ ラップフィルム(止血や食器にかぶせて使う)
- ☐ 離乳食
- ☐ 紙おむつ
- ☐ 粉ミルク
- ☐ ライター
- ☐ タオル
- ☐ カップ
- ☐ ヘルメット



非常備蓄品

災害復旧までの数日間(最低3日)を生活できるように確認しましょう。

飲料水

- ☐ 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)
- ☐ 貯水した防災タンクなど



非常食品

- ☐ お米(缶詰・レトルト・アルファ米も便利)
- ☐ 缶詰・レトルト食品
- ☐ 梅干し・調味料など
- ☐ ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)



燃料

- ☐ 卓上コンロ
- ☐ ガスボンベ
- ☐ 固形燃料



その他

- ☐ 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- ☐ 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- ☐ 調理器具(なべ・やかんなど)
- ☐ バケツ・各種アウトドア用品など



ローリングストック法

非常持出品・備蓄品などで保管する非常食などを、定期的に消費し、その分をあらためて補充することで、「食べながら備蓄する」ということができます。



避難について考えましょう

避難しようとするのは「あなた自身」です。過去の災害で大丈夫だったからといって安心できません。避難することで助かるのは、「あなたの命」であることを強く認識してください。

ハザードマップを確認しましょう!

- 危険区域の中や周辺にお住まいの人 → 周辺の避難所や避難経路を確認しておきましょう。
- 危険区域の外にお住まいの人 → 自宅での安全確保のための備えや、周辺の避難所や避難経路を確認しておきましょう。

避難行動 避難行動には大きく2つの考え方があります。

1

立退き避難(水平避難)

安全な場所まで立退き避難



※夜間に大雨が予想される場合は、明るい時間帯に避難をすませておくことも大事です。

2

屋内安全確保(垂直避難)

自宅内の高い場所へ避難



がけや山から離れた部屋へ避難



避難を判断するための情報(警戒レベルと防災気象情報)

防災気象情報

警戒レベル相当情報(例)

警戒レベル5相当情報

- 大雨特別警報
- 氾濫発生情報 など

警戒レベル4相当情報

- 土砂災害警戒情報
- 氾濫危険情報 など

警戒レベル3相当情報

- 洪水警報
- 氾濫警戒情報 など

これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。国土交通省、気象庁、県が発表します。

市が発令する避難情報

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5	☐ すでに災害が発生している状況。 ☐ 命を守るための最善の行動をとる。	緊急安全確保
警戒レベル4	☐ 速やかに避難先へ避難する。 ☐ 避難先への移動がかえって危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難する。	避難指示 危険な場所から全員避難
警戒レベル3	☐ 避難に時間を要する人(高齢者、障がいのある人、乳幼児など)とその支援者は速やかに避難する。 ☐ その他の人は、避難の準備を整える。	高齢者等避難 避難に時間がかかる人は避難
警戒レベル2	☐ ハザードマップなどで避難場所・避難経路・避難行動を確認する。 ☐ 今後の気象情報に注意する。	大雨注意報 洪水注意報 など
警戒レベル1	☐ 今後の気象情報に注意する。	早期注意情報(警報級の可能性)

※各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。
警戒レベル3や警戒レベル4では、地域の皆さんで声をかけあって、確実に安全な場所に避難しましょう。

日頃の備え 共助

自主防災組織で地域を守る

自主防災組織とは、地域のみなさんが災害に対して協力し合う組織です。市では、各行政区に自主防災組織が結成されています。

平時の活動

- **みんなで学ぼう!** 防災に関する知識を身につけましょう。想定される災害と対応について話し合しましょう。
- **地域を点検しよう!** 避難経路に危険な場所がないか点検しましょう。
- **訓練をしよう!** 初期消火訓練 | 避難所の開設・運営訓練 | 避難者の誘導訓練



災害時の活動

- **初期消火活動** 身の安全を確保し、消火器などを用いた初期消火の実施。
- **避難誘導支援** 高齢者や障がいのある人などへの避難誘導の支援。
- **救出・救護活動** 身の安全を確保し、被災者の救出や救護活動の支援。
- **情報の収集・伝達** 災害に関する正しい情報を収集伝達。
- **避難所での支援** 水や食料などの配給支援や炊き出しなどの活動支援。



避難所の運営

避難者による自主的な運営が基本です

避難者を中心にした避難所運営組織をつくり、自治体職員や施設職員(学校教職員など)の協力のもとに自主的な避難所運営に当たりましょう。

地域全体の支援拠点として機能します

避難所の避難者だけでなく地域でさまざまな支援を提供します。健康管理、物資供給、情報提供などの各種支援を通して、地域全体の生活再建を目指しましょう。

誰にとっても優しい避難所を目指します

女性、子ども、高齢者、性的少数者、障がいのある人などの多様な意見を踏まえた避難所運営を行うため、避難所運営組織の役員には性別に関わらず参画するように配慮しましょう。また、避難生活の問題点を解決するため、相談窓口を設けるなどして対応しましょう。



災害時に特別な配慮を要する人への支援

高齢者や障がいのある人など、災害時において特に配慮を要する人は、地域のみなさんの支援が必要です。

高齢者・病気の人

- 背負う(または担架、リアカーなどを利用する)などして安全な場所まで避難しましょう。
- 複数の介助者で対応しましょう。



車いすを利用している人

- どのように介助したらいいか、本人に確認しましょう。
- 階段では2人以上が必要です。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動しましょう。



目の不自由な人

- 声をかけ、情報を伝えましょう。
- 誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持ってもらい、半歩前をゆっくり歩きましょう。



耳の不自由な人

- 話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにしましょう。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝えましょう。



避難生活の心得

大規模災害では、ライフラインの停止などにより、避難生活が長期化する可能性があります。

自宅が危険な状態になった場合は指定避難所に避難しますが、車の中で寝泊まりしたり(車中泊避難)、被災を免れた自宅で避難生活を送ったり(在宅避難)することもあります。

避難生活は不自由で困難なものです。1日も早く災害前の生活を取り戻すために、被災者同士で積極的に助け合いましょう。

避難生活の注意点

共同生活における注意点

- 性別で役割分担を固定したり、一部の人のみに負担が集中したりしないように、できることをみんなで分担・協力しましょう。
- 居住スペースでの飲酒は控え、喫煙は指定された場所で行いましょう。
- 起床から消灯まで避難所で定められた生活時間を守りましょう。



健康管理における注意点

○メンタルヘルス(心の健康)

避難所生活では、災害で大きな被害を受けたことへのショック、不自由な現状や将来的な生活再建への不安などを和らげるメンタルヘルス対策も重要です。苦しいときは遠慮せず、避難所を訪れる医療や福祉の専門家に相談しましょう。

○感染症対策

- 日常的に手洗い・うがいをしましょう。咳やくしゃみが出るときはマスクを着用しましょう。
- 食事前には必ず手洗いをし、食べ物には素手で触らないようにしましょう。
- 生ものは避け、食材はできるだけ加熱調理しましょう。賞味期限にも注意しましょう。



避難所生活における配慮

要配慮者への配慮

誰もが安心して避難生活が送れるよう、多様な人に配慮したスペース作りに心がけましょう。

- 乳幼児スペース ● 多目的スペース
- 情報コーナー ● 福祉スペース
- 相談窓口の設置 など

ペットの管理

避難所ごとにペットの受入れ方や条件が異なります。

ペットを連れて避難する場合は、避難所のルールに従って、飼い主が責任を持ちましょう。



女性への配慮

女性の視点を活かした避難所運営を行いましょう。

●女性専用スペースの確保

着替えや授乳などのために人目につかないスペースの確保、女性専用の洗濯・物干し場所や洗濯機の設置場所の確保など、女性が安心して利用できるよう配慮しましょう。

●女性担当者の配置

運営組織に女性担当者を配置し、女性の視点を活かした運営を積極的に行いましょう。

また、女性が必要とする物資は女性担当者から配布するような体制をとりましょう。

●犯罪や暴力の防止

夜間や人通りの少ない場所での犯罪や性暴力を防止するため、パトロールの実施や防犯ブザーの配布などの対策をとりましょう。



車中泊避難の注意点

車中泊避難は、プライバシーの確保、エアコン完備、カーラジオからの情報入手などといった利点がある一方で、エコノミークラス症候群や一酸化炭素中毒など健康上の危険にも十分注意する必要があります。

- 車上荒らしの危険や、ガソリンが入手しにくい場合がある。
- 排気音や排気ガスが気になり、長時間エアコンをかけられない。
- 避難者として把握されにくく、支援情報などを把握しにくい。



水 害

関連
WEBサイト
(4ページ参照)

気象庁 高解像度降水ナウキャスト
気象庁 大雨警報(浸水害)の危険度分布
気象庁 洪水警報の危険度分布

雨の降り方と強さ

1時間雨量	10～20mm	20～30mm	30～50mm	50～80mm	80mm以上	110mm
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨	記録的短時間大雨情報
人の受けるイメージ	 ザーザーと降る	 どしゃ降り	 バケツをひっくり返したように降る	 滝のように降る	 息苦しくなるような圧迫感がある	数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨(気象台が発表)

※今いる場所で雨が降っていないくても、周辺や山間部で大雨が降っていたり、雷鳴が聞こえたりした場合は、急な河川の増水や局地的な大雨が降るおそれがあるため、気象情報をよく確認してください。

局地的大雨に注意

局地的大雨は、発達した積乱雲に伴って発生します。短時間のうちに雲がもくもくと大きくなって周囲が薄暗くなるようなときには、災害が発生する可能性が高まっていることを意識してください。

次のような現象を確認して危険を感じたら、すぐに身の安全を確保しましょう。

- 真っ黒い雲が近づき、あたりが急に暗くなる。
- 雷鳴が聞こえたり、雷の光が見えたりする。
- 急に冷たい風が吹く。
- 大粒の雨やひょうが降り出す。



雷から身を守る

- 雷鳴が聞こえたらすぐに避難。
- 建物や屋根付きの乗り物へ避難(木の下は危険!)
- 屋内でも感電する場合がある(電気の配線、水道管など)。
- 木や電柱から4m以上離れ、姿勢を低く。



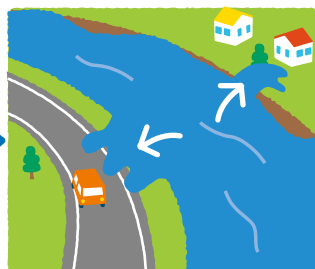
はんらん 氾濫の種類

はんらん 外水氾濫

本流から水があふれて起きる浸水などの氾濫



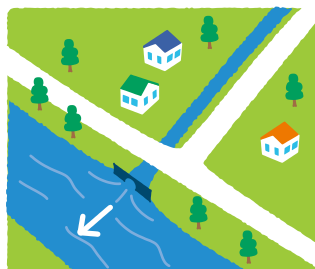
大雨によって川の水が増え、水位が上がり始める。



堤防いっぱいになると、堤防を越えて水があふれたり、堤防が決壊したりして、周辺が浸水する。

はんらん 内水氾濫

水路などから水があふれて起きる浸水等



平地に降った雨は、側溝や水路などを通して川に排水される。



側溝や水路の排水能力を超える大雨が降ると、側溝や水路からあふれだし、道路や宅地が浸水する。

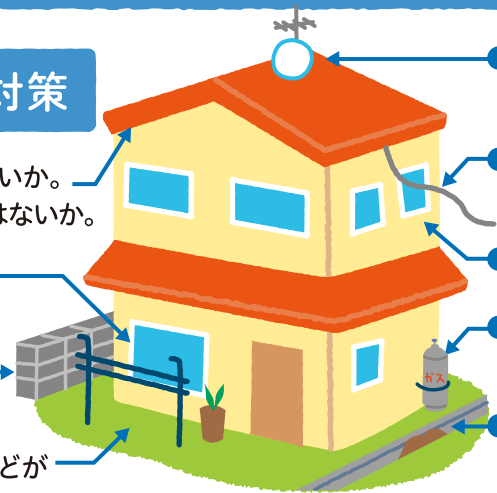
※外水氾濫より内水氾濫の方が先に発生することが多いため、避難する際はハザードマップを参考に経路の選定をしましょう。また、内水氾濫発生箇所は、側溝のふたが外れたり、水路等が見えなくなり転落の恐れがあるため、通行の際は注意が必要です。

水害に備えて

事前の備え

家の周りの安全対策

- 瓦の割れ、ずれ、はがれはないか。トタン屋根のめくれ、はがれはないか。
- 窓枠のがたつきはないか。ひび割れはないか。
- ブロック塀にぐらつきや亀裂はないか。
- 物干し竿、植木鉢、自転車などが風で飛ばされないようにする。
- アンテナ、看板などは、針金などを使って補強しておく。
- 電気の引込線のたるみや破損があったら、電力会社に連絡する。
- 外壁に亀裂はないか。
- プロパンガスボンベが固定されているか確認する。
- 雨どいや水路などのゴミや泥、落ち葉などを取り除き、水はけを良くしておく。



危険が迫ってきたら

リアルタイムに色で分かる危険なところ!!



洪水警報の危険度分布

<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>

QRコードからも確認できます



中小河川の洪水災害発生の危険度の高まりを、5段階に色分けして示す情報です。避難にかかる時間等を考慮して、3時間先までの雨量予測値(10分ごとに更新)を用いており、洪水警報等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。



※気象庁ホームページより(一部加工)

色が持つ意味	説明	相当する警戒レベル
災害切迫	重大な洪水災害が切迫もしくは洪水災害が既に発生している可能性が高い、極めて危険な状況。 直ちに身の安全を確保。 ※この状況になる前に避難を完了する。	5
危険	水位周知河川・その他の河川がさらに増水し、今後氾濫し、重大な洪水災害が発生する可能性が高い状況。 ※3時間先までに警戒基準を大きく超過した基準に到達すると予想 氾濫危険水位等を超えたら速やかに安全な場所へ避難する。	4
警戒	洪水災害への警戒が必要な状況。 避難判断水位等を超えたら高齢者等は安全な場所へ避難する。 ※3時間先までに警戒基準に到達すると予想 高齢者等以外も避難の準備をしたり、自ら避難の判断をする。	3
注意	洪水災害への注意が必要な状況。 ハザードマップ等で避難行動を確認する。 ※3時間先までに注意基準に到達すると予想 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	2
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	1

いざ、避難

水害時の注意点

- 動きやすい服装で
ヘルメットで頭を保護し、運動靴をはきましょう。裸足・長靴は危険です。
- その他の注意点
・橋はなるべく渡らないようにしましょう。
・大雨時の田んぼの見回りはやめましょう。

●足元に注意

浸水すると足元が見えなくなり、側溝やマンホールに気付きにくくなるので、長い棒などを杖代わりにして歩きましょう。



●逃げ遅れた場合は

50cm以上浸水している場合や夜間の避難は非常に危険です。自宅の2階など高いところに避難して安全を確保してください。



水害・土砂災害
ハザードマップの見方

防災情報
の入手方法
避難所一覧

水害・土砂災害ハザードマップ
計画規模(11)

水害・土砂災害ハザードマップ
想定最大規模(12)

日頃の備え

水害

土砂災害

地震

土砂災害

関連
WEBサイト
(4ページ参照)

気象庁	土砂災害警戒情報	Q
気象庁	大雨警報(土砂災害)の危険度分布	Q
福岡県	土砂災害危険度情報	Q

土砂災害の種類とその前兆現象

土砂災害が発生するおそれのある区域として、土砂災害警戒区域・特別警戒区域を県が指定しています。

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域。
危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

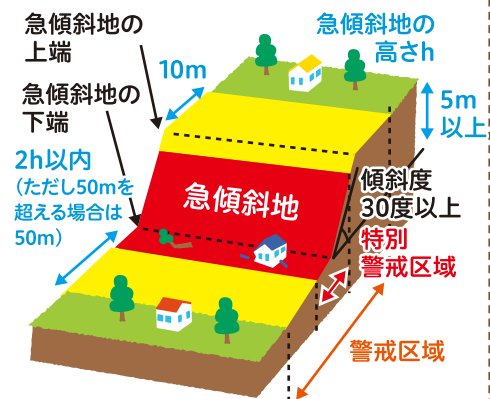
がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域。
特定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)

斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然崩れ落ちる現象です。



○区域の指定基準



○ハザードマップの表示

警戒区域(急傾斜地の崩壊) 特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)

前兆現象

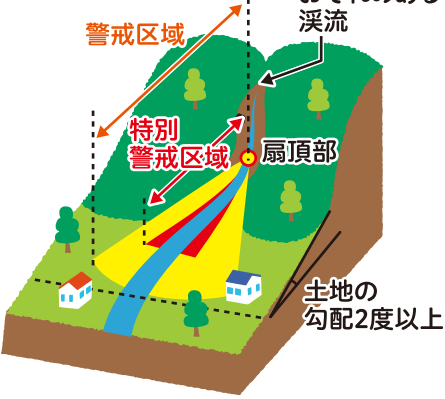
- がけに割れ目が見える。
- がけから水が噴出する。
- がけから小石がバラバラ落ちてくる。

土石流

山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨等によって、一気に下流へと押し流される現象です。



○区域の指定基準



○ハザードマップの表示

警戒区域(土石流) 特別警戒区域(土石流)

前兆現象

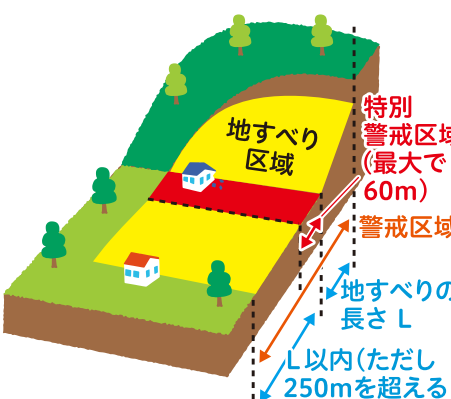
- 山鳴りがする。
- 川の流れが濁り、流木が混ざりはじめる。
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。

地すべり

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によって斜面下方に移動する現象です。



○区域の指定基準



○ハザードマップの表示

警戒区域(地すべり)

前兆現象

- 地面にひび割れができる。
- 沢や井戸の水が濁る。
- 斜面から水が噴き出す。

土砂災害に備えて

危険が迫ってきたら 土砂災害警戒情報

大雨警報発表後も雨が降り続き、土砂災害の発生の危険性が高まったときに、福岡県と福岡管区気象台が共同で発表します。

土砂災害警戒情報が発表されたときは『いつ土砂災害が起きてもおかしくない』という非常に危険な状態です。

情報は市町村単位で発表されるので、住民のみなさんの自主避難の判断に活用できます。

土砂災害警戒情報が発表されたら…

- 那珂川市が発表する避難情報に注意する。
- ハザードマップを再確認する。
- 周囲の様子をよく観察し、前兆現象を確認したらすぐに避難する。

大雨
注意報

大雨
警報

土砂災害
警戒情報

非常に
危険な
状態です。

QRコード
からも確認
できます

リアルタイム に色で分かる危険なところ!! /

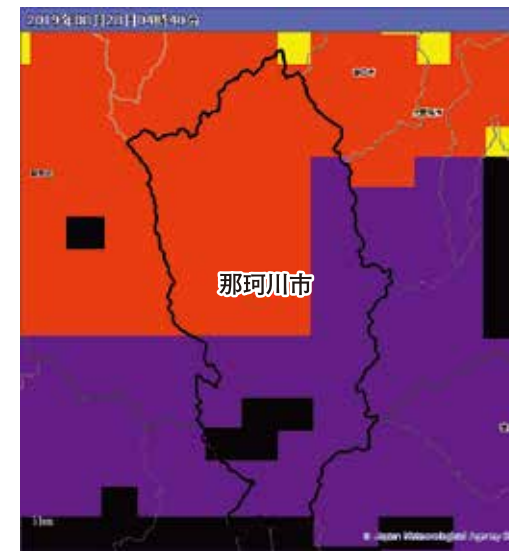


大雨警報(土砂災害)の危険度分布

<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>



土砂災害の危険度の高まっている地域を1km四方(メッシュ)の領域ごとに段階に応じて色分け表示しています。避難にかかる時間等を考慮して、土壌雨量指数の2時間先までの予測値(10分ごとに更新)を用いており、大雨警報(土砂災害)、土砂災害警戒情報、記録の短時間大雨情報等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。



※気象庁ホームページより(一部加工)

色が持つ意味	説明	相当する警戒レベル
災害切迫	命に危険が及ぶ土砂災害が切迫もしくは土砂災害がすでに発生している可能性が高い状況。 直ちに身の安全を確保。 ※この状況になる前に避難を完了する。	5
危険 ※2時間先までに土砂災害警戒情報の基準に到達すると予想	命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況。 土砂災害警戒区域等の外へ避難する。	4
警戒 ※2時間先までに警戒基準に到達すると予想	土砂災害への警戒が必要な状況。 高齢者等は土砂災害警戒区域等の外へ避難する。 高齢者等以外も避難の準備をしたり、自ら避難の判断をする。	3
注意 ※2時間先までに注意報基準に到達すると予想	土砂災害への注意が必要な状況。 ハザードマップ等で避難行動を確認する。 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	2
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—

いざ、避難

土砂災害時の注意点

●危険を感じたらすぐに避難

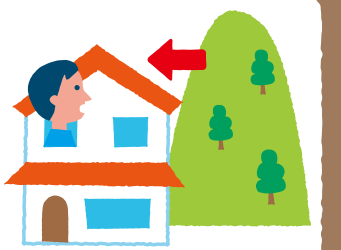
土砂災害の前兆現象に気付いたり土砂災害警戒情報が発表されたりした場合など、身の回りの危険を感じたら、早めに近くの安全な場所へ避難してください。

●他の危険区域を通らない

避難する際は、土砂災害警戒区域等(イエローゾーン・レッドゾーン)をなるべく通らないようにしましょう。ハザードマップで区域を確認してください。

●やむをえず屋外に避難できない場合

屋外に出ることがかえって危険な場合は、2階以上の斜面から離れた部屋で安全を確保してください。



●雨がやんだ後も注意

これまで降った雨が土の中に残っています。雨がやんでも大雨警報が発表されている間は、土砂災害が発生するおそれがあるので警戒しましょう。

地震

関連
WEBサイト

気象庁 気象警報・注意報



気象庁 地震情報

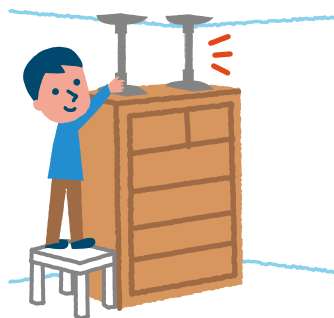


家の中の地震対策について

地震発生時に家具の転倒などによってケガをしたり逃げ道をふさがれないよう、地震対策を行いましょう。

●家具の固定・転落防止

タンス、食器棚や本棚は、L字型金具やつっぱり棒で固定しましょう。



テレビはできるだけ低い位置に置き、すべり止めや転落防止バンドで固定しましょう。



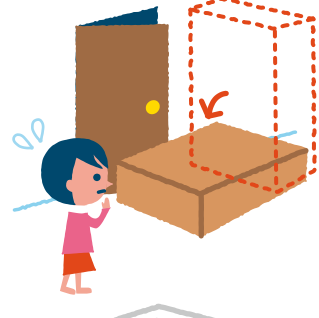
●ガラスの飛散防止

窓ガラスや棚のガラスには飛散防止フィルムを貼りましょう。



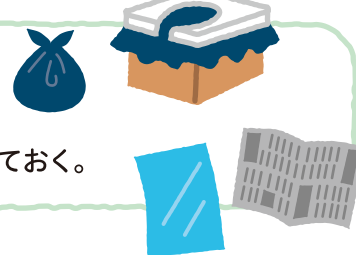
●通路の確保

部屋の入り口付近には物を置かないようにしましょう。



トイレが使えない場合の対応策

- 簡易トイレや携帯トイレを使用する（保管場所・ゴミ出しのルールを決めておく）。
- 簡易トイレの代わりとして、ビニール袋や新聞紙、消臭スプレー、重曹なども用意しておく。



マンション特有の注意点

マンションでは、建物の構造や多くの人たちが一緒に生活しているという生活環境の特徴から、戸建て住宅とは異なる防災対策が必要となります。

●通路・非常口・非常階段

通路・非常口・非常階段などの共用部分に通行の妨げになるようなものを置かないようにしましょう。

また、一斉に階段を使用すると二次災害になるおそれがあるので、注意して使用しましょう。



●エレベーターの停止

エレベーターが長時間停止した場合は、階段でしか移動できません。

高層階に住む人ほど、移動や水・食料などの運搬が困難になるので、平常時から多めに用意しておきましょう。



●ベランダ

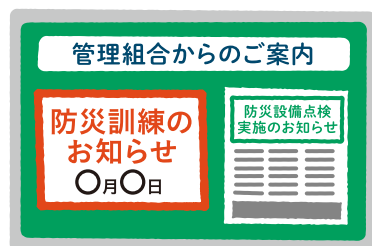
ベランダの避難ハッチ（非常脱出口）の使用方法を確認しておきましょう。

また、ハッチをふさぐようなものは置かないようにしましょう。



●管理組合からの連絡

防災設備の点検や防災訓練のお知らせなど、管理組合からの連絡には日頃から注意しましょう。



●トイレ・ゴミの問題

配管・配水管が破損すると、トイレを使うことができません。高層階に住む人ほど、不便が大きくなります。

また、災害用の携帯トイレなどを使う際には、ゴミの問題とあわせて悪臭など衛生面の問題が発生します。



地震発生時のタイムライン

地震発生

まずは自分の身を守る

- 机の下に入る。 ●家具やガラス面から離れる。
- クッションや雑誌などで頭を保護する。



緊急地震速報

震源に近い観測点で地震を察知し、直ちに震源や地震の規模（マグニチュード）などを推定し、大きな揺れが始まる数秒前から数十秒前にお知らせするシステムです。情報が出たら、身を守ることを第一に、どのような行動がとれるか、日頃から話し合っておきましょう。

緊急地震速報の流れ



地震発生

P波（弱い揺れの波）
S波（強い揺れの波）

はじめに来る弱い揺れを感じ！

地震計

揺れがくるよりも早く知らせる！

気象庁

皆さん

テレビ・ラジオ
携帯電話 防災行政無線



ここがポイント！

こんなときは

■人が大勢いる施設では

むやみに移動すると混乱をまねく恐れがあるため係員の指示に従い、落ち着いて行動。

■山やがけ付近では

落石やがけ崩れに注意。



■路上にいた！

窓ガラスや瓦などの落下物からカバンなどで頭を保護し、空き地や公園などに避難する。

注意 ブロック塀、自動販売機には近づかない。倒れそうな電柱、垂れ下がった電線に注意する。



■車を運転していた！

徐々にスピードを落とし、左側に止め、エンジンを切る。揺れがおさまるまで冷静に、カーラジオなどで情報収集。

注意 避難するときはキーは付けたまま、ドアロックもしない。貴重品を持ち出し、徒歩で避難する。



■エレベーターの中にいた！

すべての階のボタンを押し、停止した階で降りる。

注意 閉じ込められても無理に脱出しようとせず、非常ボタンで外部と連絡をとり救出を待つ。



発生から
1~2分

揺れがおさまったらまず火の始末

- 脱出口を確保する。 ●火元を確認する。
- 家族の安全を確保する。 ●靴をはく。



発生から
3分

隣近所の安全確認

- 隣近所に声をかける。 ●近所に火が出ていたら初期消火。
- 余震に注意。 ●非常持出品を用意する。



発生から
5分

ラジオなどで正しい情報を入手

- 正しい情報をつかむ。 ●緊急連絡を優先。
- 家屋倒壊などの危険があれば避難。

⇒避難場所へ避難 63ページをチェック



発生から
10分~

協力して消火・救出・救護活動

- 助け合いの心が大切。 ●水・食料は蓄えているもので。
- 壊れた家には入らない。 ●災害情報・被害情報の収集を行い、デマ情報にまどわされない。



地震ハザードマップ(揺れやすさマップ)

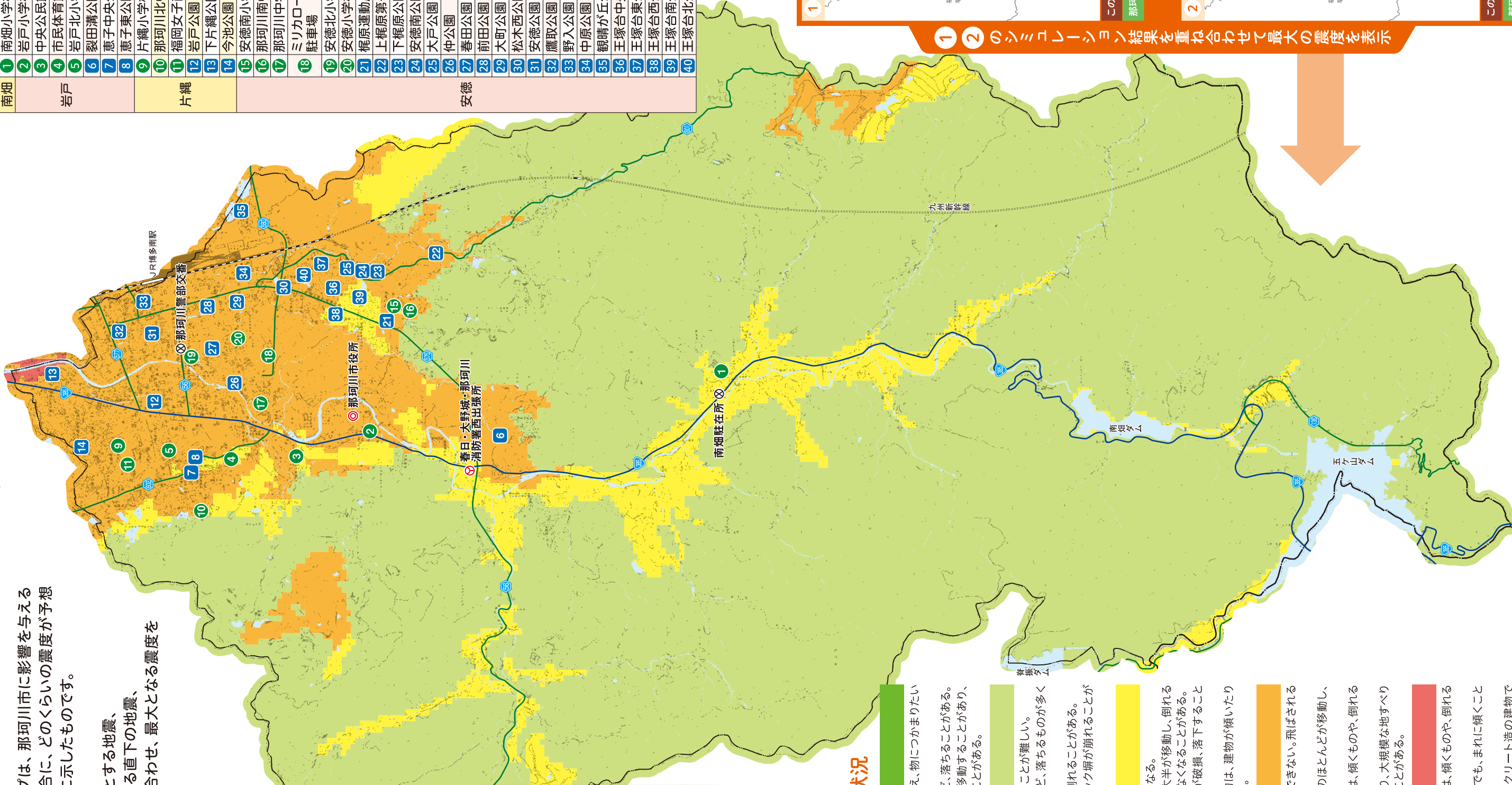
揺れやすさマップは、那珂川市に影響を与える地震が発生した場合に、どのくらいの震度が予想されるかを地図上に示したものです。

このマップでは、

- ①警固断層を震源とする地震、
 - ②どこでも起こりうる直下の地震、
- の計測震度を重ね合わせ、最大となる震度を示しています。

避難場所一覧(地震時)

地区	名称	住所
南畑	① 南畑小学校 運動場	埋金530-1
	② 岩戸小学校 運動場	西隈2-6-43
	③ 中央公民館 駐車場	後野1-5-1
	④ 市民体育館 駐車場	恵子4-1-1
岩戸	⑤ 岩戸北小学校 運動場	恵子1-1-1
	⑥ 裂田溝公園	山田540
	⑦ 恵子中央公園	恵子4-210-1
片縄	⑧ 恵子東公園	恵子2-59-12
	⑨ 片縄小学校 運動場	片縄北1-15-1
	⑩ 那珂川北中学校 運動場	片縄西3-26-1
	⑪ 福岡女子商業高校 運動場	片縄北1-4-1
	⑫ 岩戸公園	片縄3-117
	⑬ 下片縄公園	片縄東1-559-1
	⑭ 今池公園	片縄北8-710-2
	⑮ 安徳南小学校 運動場	上梶原1-1-1
	⑯ 那珂川南中学校 運動場	上梶原1-2-1
	⑰ 那珂川中学校 運動場	仲3-19-1
	⑱ ミリカローデン那珂川 駐車場	仲2-5-1
	⑲ 安徳北小学校 運動場	五郎丸1-11
安徳	⑳ 安徳小学校 運動場	松木2-134
	㉑ 梶原運動広場	上梶原1-318-1
	㉒ 上梶原第一公園	上梶原733-3
	㉓ 下梶原公園	下梶原2-365-1
	㉔ 安徳南公園	下梶原2-323-1
	㉕ 大戸公園	下梶原2-303-28
	㉖ 仲公園	仲1-149
	㉗ 春田公園	五郎丸1-168
	㉘ 前田公園	松木1-211
	㉙ 大町公園	松木2-232
	㉚ 松木西公園	松木5-467-10
	㉛ 安徳公園	今光4-168
	㉜ 鷹取公園	今光3-259
	㉝ 野入公園	中原2-167
	㉞ 中原公園	中原5-105
	㉟ 観晴が丘公園	観晴が丘129
	㊱ 王塚台中央公園	王塚台2-135
	㊲ 王塚台東公園	王塚台1-179
	㊳ 王塚台西公園	王塚台3-82
	㊴ 王塚台南公園	王塚台2-346
	㊵ 王塚台北公園	王塚台1-82



震度と揺れの状況

震度5弱

- 大半の人が恐怖をおぼえ、物につかりたいと感じる。
- 棚にある食器類や本など、落ちることがある。
- 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

震度5強

- 物につかまらなと歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本など、落ちるものが多い。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

震度6弱

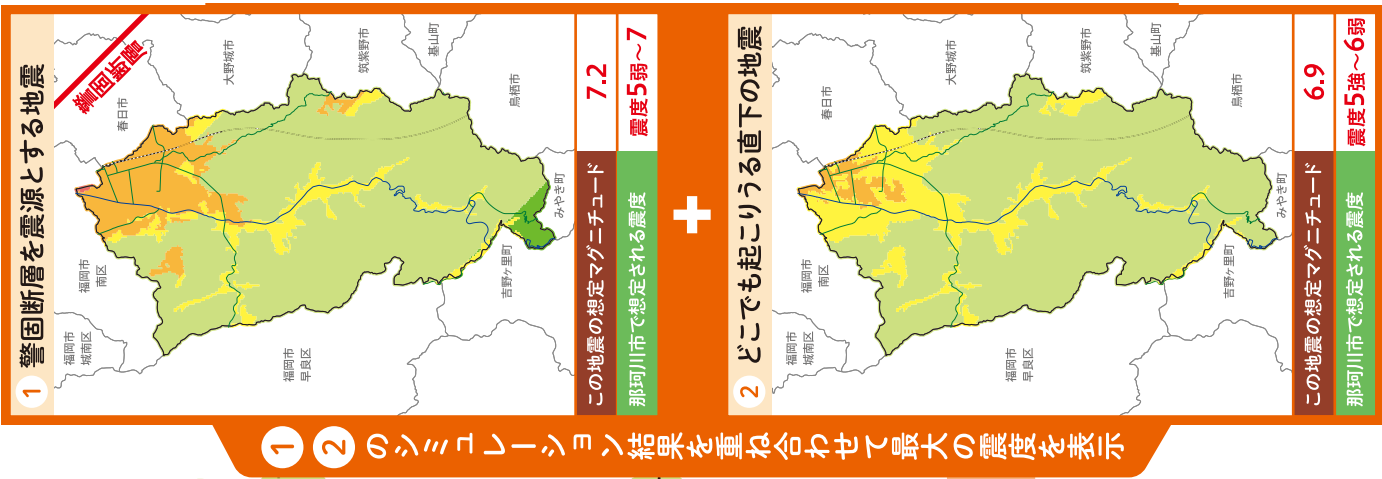
- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、建物が傾いたり倒れたりすることがある。

震度6強

- はわなないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定されていない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多い。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多い。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりやがけ崩れが発生することがある。

震度7

- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多い。



地震ハザードマップ(危険度マップ)

危険度マップは、地震によって発生する建物被害の分布を表したものです。

具体的には、「揺れやすさマップ」で示した強さの揺れが起こった場合の、建物被害の程度（建物全壊率）を表しています。

建物全壊率は、1辺約50mのメッシュ単位の地域に建っている建物の中で何%の建物が全壊するかを示しています。

建物全壊率の数値が大きくなるほど建物を受ける被害が大きくなります。

「全壊」とは

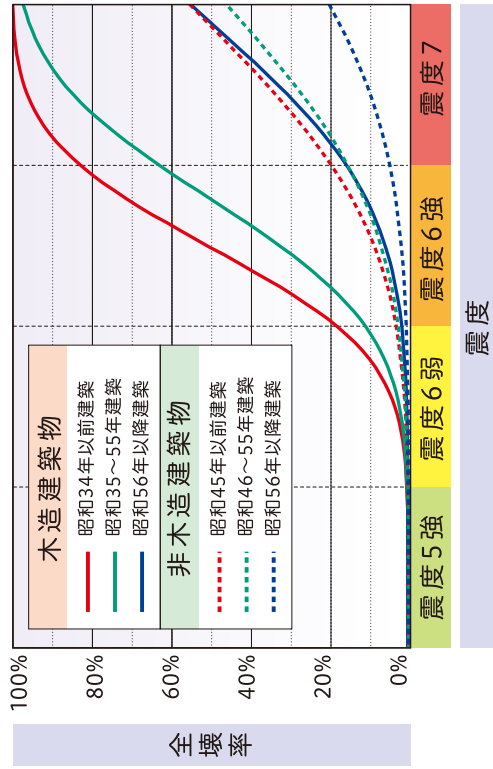
全壊とは、自然災害による建物被害の程度の中で、最も大きく被害を受けた状態を示します。



震度と建物全壊率の関係

下のグラフは過去の地震による建物被害の統計から、震度と建物（構造・年代別）の全壊率の関係を導き出したものです。

古い耐震基準をもとに建てられた建物ほど全壊率が高く、特に震度6弱～6強から急激に高くなります。震度7では昭和56年5月以前の旧耐震基準により建てられた木造建築物の全壊率は90%以上になると想定されます。



※「地震防災マップ作成技術資料(内閣府/平成17年)」より作成
※このグラフは過去の地震による建物被害の統計値から算出されたものです。
個々の建物の耐震性を建築年で一律に評価するものではありません。

避難場所一覧(地震時)は、63ページをご覧ください。

